



第141号

Web Fairy Paradise

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第119回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第120回 WFP 作品展
- ・ 東京オリンピック開催?記念作品展
- ・ 推理将棋第126回出題

結果発表

- ・ 第118回 WFP 作品展
- ・ Fairy of the Forest #62
- ・ 推理将棋第124回解答
- ・ やさしい双裸玉 Imitator 蔵出し編(占魚亭)
- ・ 第4回神無太郎の氾濫 解答編
- ・ 強欲な世界 PART11 解答

読み物

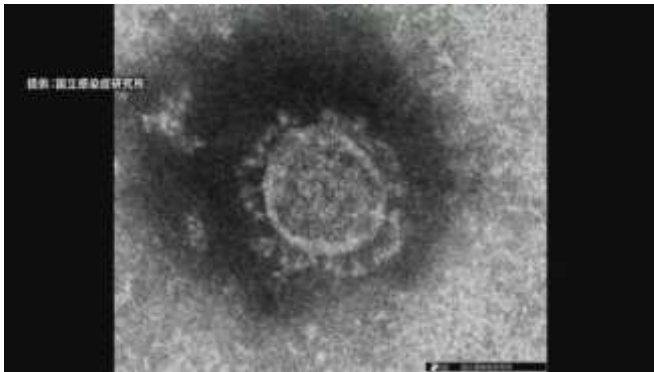
- ・ レトロプロブレム入門(3) by 高坂研
- ・ FairyTopIX2019 お気に入り投票要項

(改訂:2020/3/21)



2020/3

はじめに



新型コロナウイルス

まさかこんな状況になるうとは誰が想像しただろうか？

1月下旬より徐々に感染が確認された新型コロナウイルス。日本での感染者も3月20日現在感染者924人、死亡者数29人、回復者150人という状況にあります。学校が休校になり、人が集まる集会や会合も自粛要請があり、ほぼ中止や延期という措置がなされています。私の住む愛媛県も、現在感染者3名となっていますが、学校は休校で体育施設の一般開放での使用も現在では出来ず。学生のみならず社会人のクラブ活動も出来ない状況が続いています。3月～4月に開催予定の各種大会も中止。JR予讃戦も乗客数激減の為、特急は間引き運転となり運休となる便が出ています。

これまでの人生で初めての経験で、この先どうなるのか不安でいっぱいです。しばらく続くようだと東京オリンピックの開催もどうなるのか分かりませんね。

各種規制により収入が減ったり、仕事が無くなったり経済への影響も計りしれません。この状況が続けば元に戻るまで何年もかかる事でしょう。行く先は不安でいっぱいです。

こんな時は家にこもって詰将棋でも・・・と言いたいところですがなかなか心が不安定なこの状況ではそれも絵空事のようにも感じます。早く普通の状況に戻って、心豊かな気持ちで詰将棋を楽しめる日が来ればいいなと思います。

まずは、うがい手洗い、咳エチケット、マスクの着用。自分達の出来ることをやってみることにしましょうか。

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第141号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<http://sengyotei.hatenablog.com>

第119回WFP作品展(再掲)及び 第120回WFP作品展

担当：神無七郎



フェアリーの歴史(番外編1) 前衛賞受賞作品の早詰報告

この小欄で連載した「フェアリーの歴史」で「各賞の特徴や受賞作をまとめると、フェアリーの歴史を振り返る良い資料となるはず」と書きましたが、それを実践するため、前衛賞受賞作の一覧作成を始めました。

前衛賞はフェアリーの賞の中で最も歴史が古く、幾多の変遷や、紆余曲折がありました。一口に「前衛賞」と言っても、その性格は回によって異なります。

この作業を進めていく中で、2つの作品に早詰が見つかったので報告します。順番が前後しますが、まずは「最後の前衛賞」となった「第14回前衛賞」の受賞作からです。

出口信男 作
天竺詰 91手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	角	馬	皇	皇	皇	糸			一
		糸							二
			銀	銀	銀	銀			三
糸	糸	皇	糸	金	金	金	桂		四
歩	ス	と	ス	ス	ス	ス	ス	進	五
	歩	歩	歩	歩	歩		金		六
						飛			七
						桂	桂	桂	八
									九

持駒 なし
(カピタン,1986年9月,
第14回前衛賞長編部門 1位)

[作意]

- 82馬 同玉 72角成 92玉 83馬 91玉
- 73馬 82角 同馬 同玉 73角 93玉
- 94歩 同玉 85と 同歩 84角成 同玉
- 85歩 同玉 74銀生 同玉 64金 同香
- 75香 同と 同歩 同玉 64銀生 同玉
- 54金 同香 65香 同と 同歩 同玉
- 54銀生 同玉 44金 同香 55香 同と
- 同歩 同玉 44銀生 同玉 35金 同と
- 36桂 同と 45香 同飛 同歩 同玉
- 46歩 同と 35飛打 42玉 43歩 同玉

- 44歩 同玉 45歩 同と 34飛 42玉
- 43歩 同玉 44歩 同と 33飛生 42玉
- 43歩 同と 32飛生 同歩 同飛生 41玉
- 42歩 同と 31飛生 同玉 32歩 同と
- 同桂成 同玉 33歩 同玉 34歩 同玉
- 26桂右 まで 91手

「天竺」は玉が王手駒の性能になるルール。この作品はそんな天竺詰の特徴を最大限に利用した見事な煙詰ですが、作意の 41 手目から早詰がありました。

[早詰]

途中図：40手目

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						糸			一
									二
						銀			三
			王	皇		桂			四
				ス	ス	ス	進		五
				歩	歩		金		六
						飛			七
						桂	桂	桂	八
									九

持駒 香歩7
(※作意はここから55香)

- 44銀成 同玉 35金 同と左 45歩 同玉
- 47香 46歩 35飛 41玉 42歩 同玉
- 43歩 同玉 44歩 同玉 45香 まで

[主な変化]

- 46手目： 同玉のところ同とは、34飛 41玉 42歩 同玉 33飛成 同玉 34歩 同玉 26桂右 まで
- 48手目： 46歩合のところ角銀桂香合でも同じ。
46とは同香 同飛 36桂 56玉 57香 まで
46金は同香 同と(同玉は 55金まで)
34飛 41玉 42歩 同玉 53金 同玉 54香 まで

15飛を15龍とすれば、上記の早詰は消え、作意もほぼ変わらないので(「同飛」が「同龍」に変わるだけ)、これを修正案の一つとして提案しておきます。

もう一つは、第10回前衛賞受賞作です。

「第10回前衛賞」は2つあります。この頃カピタン誌が休刊し、カピタンに発表された作品の多くが結果未発表となりました。そのため、カピタン発表作を除いた作品が対象の「第10回前衛賞」と、カピタンが復刊した後、上記から漏れた作を対象に行われた「第10回前衛賞特別賞」が生まれました。

早詰が見つかったのは、「特別賞」の受賞作の一つです。

飯田岳一作

ばか自殺詰 78手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	馬							玉	一
		飛						角	二
						飛	飛		三
									四
								と	五
					ス	と	香		六
					歩	科	ス		七
					桂	香			八
					金	歩	王		九

持駒 金3 銀2 歩

(カピタン,1985年5月,
1982年12月C7の修正図
第10回前衛賞特別賞佳作)

〔作意〕

- 18金 同玉 19歩 同桂成 27銀 同と 寄
- 17金 同玉 27と 同と 26銀 同飛 18歩
- 同玉 17金 同と 45角成 36飛 同馬
- 27と 17飛 同玉 35馬 26と 同馬
- 18玉 36馬 17玉 35馬 18玉 45馬
- 17玉 44馬 18玉 54馬 17玉 53馬
- 18玉 63馬 17玉 62馬 18玉 72馬
- 17玉 71馬 18玉 81馬 17玉 71馬
- 26銀 18歩 同玉 81角 17玉 27飛
- 18玉 26飛 17玉 36飛 18玉 35飛
- 17玉 45飛 18玉 44飛 17玉 54飛
- 18玉 53飛生 17玉 63飛生 18玉
- 62飛生 72飛 27銀 17玉 12飛生 71飛
- まで 78手

馬鋸と角遠打で作った軌道上で飛鋸を行い、その飛を大転換する遠大な構想。巧妙な遠隔操作で受方玉を密室に閉じ込めたまま自玉を詰め

るこの構想は強烈で、多くの応用を生みました。この作品は発表時早詰で、上図は結果稿に載った修正図です。しかし、その修正図にも早詰がありました。

〔早詰〕

途中図：45手目71馬の局面

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	馬							王	一
									二
								飛	三
									四
								と	五
								香	六
						歩		王	七
						桂	香		八
						金	歩	王	九

持駒 飛 歩

(作意はここから18玉)

- 62飛 18飛 同玉 81馬 72飛打 同馬 同飛
- 17飛 同玉 71角 62飛打 同角成 53角
- 18飛 同玉 63馬 54金 同馬 27飛 17金
- 同玉 44馬 同角 まで 68手 駒余り 歩

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
		飛							二
								飛	三
						馬			四
								と	五
								香	六
						歩	飛	王	七
						桂	香		八
						金	歩	王	九

持駒 歩

詰上りで攻方持駒には歩がありますが、二歩のため打てません。しかも2手余分に掛ければ持駒の歩も消せるので、2筋や3筋の歩を別の駒に変えても修正にはなりません。修正には44角の王手を防ぐ配置(例えば攻方14桂追加)が必要でしょう。

今回、前衛賞受賞作の早詰の話題を取り上げたのは、それ自体の重要性もありますが、フェアリーを取り巻く環境の「危うさ」についても知っていただきたいと思ったからです。

前衛賞は第14回で終わりました。第15回以降の企画もありましたが、カピタンの休刊により実現しませんでした。それ以前も「第13回」が「第14回」に吸収合併されたり、「第10回」が詰パラとカピタンで別々に選ばれたりしています。フェアリー専門誌であるカピタンが不定期行だったため、状況に応じて選出の対象範囲を調整せざるを得なかったのです。

現在、WFP誌は月一回のペースで定期刊行されており、号数も140号を越えました。これは決して当たり前のことではありません。ネット誌という発行形態のおかげで、製本や送付の手間が省けるといふ有利さがありますが、これほど長い間定期刊行を続けたフェアリーの専門誌はこれまで存在しなかったのです。

今のところWFP誌の発行を妨げる危機的な事態が起きているわけではありません。しかし、このまま続く保証はありません。継続のための布石がなければ、行き詰まる時は必ず訪れます。読者の皆さんも、フェアリーの発表媒体をどう確保していくべきか、頭の片隅でも良いので考えておいてください。

最近、本誌では常設展であるこの「WFP作品展」や四半期開催の「Fairy of the Forest」以外にも「個展」が行われるようになりました。これは小さな変化ですが、このように様々な実験が行われ、その中から成功する企画が出れば、それが将来のWFP誌を支える主要コンテンツに成長するかもしれません。本誌が安定的に発行されている今のうちに、未来への種を蒔いておくことが望まれます。

では今月の出題です。今回は第119回の再掲載分と第120回の新規出題です。第120回は作品ごとに難易度にかなり差があるので、まずは易しそうな作から手を付けると良いでしょう。

〔第119回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第119回の出題は11題。複数解を求める作品があるので実質12題です。内容にもよりますが、複数解物はツイン（組局）と同様、求めるべき解の数で計上します。

今回登場する作者は神無太郎氏、占魚亭氏、

高坂研氏、変寝夢氏、はなさかしろう氏、たくぼん氏、上田吉一氏の7名。調整の結果、既投稿作のうち、高坂研氏の2題は次回に繰り越しとなりました。ご了承ください。

119-1 及び **119-2** は神無太郎氏の点鏡作品。前回のツインと同時に投稿されたものですが、手順はかなり異なります。自玉を何に変身させるかを考えて解くと早く解けるかもしれません。

119-3 は作者の占魚亭氏曰く「ニッチ路線」の作品。Koko（本来はウムラウト付きのKōkoと表記するそうですが、便宜的にKokoとします）という、周囲に駒のあるマスのみに着手できるルールと、PWCを組み合わせ、更には持駒に中立駒の飛が使われています。本作品展でのKokoの登場は最初が第39回、直近が第75回以来なので、初めて解く人も多いでしょう。しかし第53回WFP作品展ではPWCとKokoを組み合わせた作品（**WFP53B-2**、変寝夢氏作、Koko-PWC協力詰11手）も発表されており、前例は皆無ではありません。なおPWCで取られた玉は復活しないことに注意してください。Kokoでは玉を取った後、周囲に駒がない場合、それは王手とみなされません。PWCと組み合わせた場合でも、普通なら問題なく王手と言える手が、Kokoでもちゃんと王手になっているか確認する必要があります。

119-4 は前回に続き高坂研氏の透明駒作品。ルール設定とその枚数から、透明駒が受方玉であることは確定。問題はその居場所ですが、協力自玉詰に慣れた人なら、ごく常識的な詰上りを想定すれば一発で分かると思います。

119-5 及び **119-6** は変寝夢氏の作品。まず**119-5**は駒を取るときと取らないときで動きが違うMarine Pieceの一種であるSiren（汝と表記）を使った作品です。この駒は**102-14**で登場しているので、当時の出題時の説明や、結果稿を参考にしてください。

119-6 はWFP作品展初となる「全Andernach」。フェアリーチェスの「Super Andernach」に相当するルールで、玉の着手と打以外のすべての着手で、駒の所属が変わります。「Andernach」を「取転」、「AntiAndernach」を「不取転」とすれば「全Andernach」は「全転」と覚えると良いと思います。

119-7 及び **119-8** は前回の続編。はなさかしろう氏の「All-in-Shogi」の推理将棋です。「相手の駒を動かせる」「直前の局面に戻す手を禁じ

る」という All-in-Shogi のルールが適用されるので、普通の推理将棋とはかなり違う感覚が要求されます。

119-9 はたくぼん氏の作品。特殊な条件が何も付いてない純粋な協力詰ですが、難解だと思います。腰を据えて取り組んでください。

119-10 及び **119-11** は、上田吉一氏の作品。使われているフェアリー駒は Grasshopper と Locust。今回の作品展では **119-5** も含め 3 種類のホッパー系のフェアリー駒が登場します。跳躍台となる駒を取らない Grasshopper、跳躍台となる駒を取る Locust、跳躍以外でも動ける Siren。それぞれ微妙に仕様が異なるので、混同しないよう注意してください。なお、**119-10** は 2 解を求める問題です。なるべく両方の解をお答えください。

〔第 120 回作品展各題への補足説明〕

第 120 回の出題は 10 題。ツイン（組局）や複数解を求める問題があるので実質 12 題です。

今回登場する作者は高坂研氏、占魚亭氏、神無太郎氏、上田吉一氏、変寝夢氏、真 T 氏の 6 名。作品ごとに難易度の差がありますが、解けた分だけでも解答をお寄せください。

120-1 及び **120-2** は高坂研氏の透明駒作品。**120-2** は WFP117-8 と同様、レトロ解析が要求されています。つまり、この出題図から逆算して、どこかで逆算が行き詰まらないことを前提条件に含めてください。

120-3 及び **120-4** は占魚亭氏の作品。Imitator の使用はいつも通りですが、今回はフェアリー駒が加わっています。**120-3** では AntiAndernach の条件も付加されており、ルールの把握がまずは先決ですね。また **120-3** は 2 解を求める作品なので、できるだけ両方の解を求めてください。Camel（駱）は本作品展では初登場ですが、単純に 3 対 1 の方向に跳ぶ八方桂なので特に説明は不要でしょう。NightRider は過去にいくつか使用例がある（直近では WFP99-6）ので、参考にとると良いでしょう。

120-5 及び **120-6** は神無太郎氏の作品。双方の玉以外はすべて中立駒になっているという条件で Imitator を使用した作品です。かなりの難物だと思いますが、同氏の第 112 回の 3 作が（協力白玉詰ではなく協力詰ですが）参考になるかもしれません。

120-7 及び **120-8** は上田吉一氏の作品。前回

と同様、Locust と Grasshopper を使った協力白玉詰です。**120-7** はツイン（組局）ですが、短手数なのでぜひ両方解いてください。**120-8** も手数の割に易しいと思うので、あまり構える必要はありません。

120-9 は変寝夢氏の「全 Andernach」。前回に引続いての登場です。とどめの駒は予想しやすいと思いますが、全 Andernach なので入手方法に工夫が必要です。

120-10 は第 80 回以来久々となる真 T 氏の本作品展への登場です。ルールもお得意の最悪詰。変化・紛れが少なく、狙いも明快なので、最悪詰に不慣れな方にもお勧めです。

解答要項

第 119 回分解答締切:2020 年 4 月 15 日(水)

第 120 回分解答締切:2020 年 5 月 15 日(金)

宛先: k7ro.ts@gmail.com (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12 題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。

宛先は解答と同じ k7ro.ts@gmail.com へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。



ルール説明

※WFPのページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule112.pdf>)があるので、それも参考にしてください。

【点鏡】

55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない

→本誌初出:第108回WFP作品展(WFP127号)

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

- 1)駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2)位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3)駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4)取られた玉は復元しないものとする。

【Koko】

着手は、そのまわりの8マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。

(補足)

・王手にもこの条件は適用される。

玉を取っても周りに駒がない場合、王手とみなされない。

→参照:WFP42号「Kokoについて」

【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横にnを付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒

だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。

- 4)中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5)二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6)中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7)中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照:WFP61号「中立駒の紹介」

【二玉詰】(または【多玉詰】)

複数の玉を使用する。

どの玉に対しても王手放置は禁手。

王手を外せなければ詰み。

→初出;第41回WFP作品展(WFP45号)

【透明駒】

位置・種類が不明の駒。

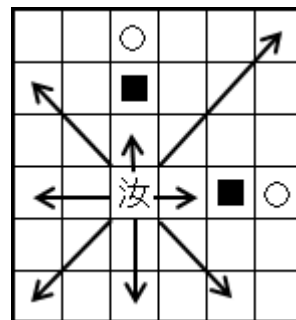
着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→参照:WFP83号「透明駒の紹介」

【Siren】(汝)

フェアリーチェスのSiren(汝)。

駒を取らないときはQueenの動き。駒を取るときはLocustの動き(Queenの利きの方向にある敵駒を跳び越えその1つ先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る)。



(矢印が駒を取らない時の動き。○が駒を取る時の移動先。

■は敵駒。これを取って○に行く。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていたりするとそこには行けない。)

→本誌初出:第102回WFP作品展(WFP119号)

【駒全マネ禁】

直前の指し手の駒種と同じ駒での着手を禁止する。

(補足)

・直前の指し手と同じ種類の駒を動かす手では詰みを回避するしかない場合や、玉を

取る手にもこれを適用する。

- ・成駒と生駒は別種の駒として区別する。
また、直前の手が「成」だった場合、成る前の駒種で判定する。

→参照：WFP132号「駒全マネ禁詰の紹介」

【全 AntiAndernach】

玉以外の駒は、盤上の移動を行うと、着手後に相手の駒となる。

(補足)

- ・細則は **Andernach** と同様に「駒取り」を「盤上の移動」に読み替える。

- 1) 盤上の移動で二歩になる場合、相手の駒にならない。
- 2) 相手の駒になるのは成生の選択後。
- 3) 盤上の移動では、相手陣二段目への桂の不成、一段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）。

【All-in-Shogi】

双方とも、自分の手番のときに相手の駒を動かすこともできる。敵玉を王手がかかる位置に動かしてもいいし、敵の持駒を打ってもいい。ただし、双方とも1手前の局面に戻すような着手は禁手とする。

(補足)

- 1) 相手側の駒を動かすとき、自分側の駒を取らせることはできるが、相手側の駒を取らせることはできない
- 2) 相手側の駒で自分側の駒を取らせたとき、その駒は相手側の持駒となる
- 3) 自玉を取らせる手は反則

→参照：WFP122号「All-In-Shogiの紹介」

【推理将棋】

将棋についての会話（または条件）をヒントに将棋の指し手を復元する。

【All-in-推理 Shogi】

推理将棋と All-In-Shogi を組み合わせたもの。将棋の初期局面から条件に合う手順を求める点では推理将棋と同じだが、合法手や詰・不詰の判定に All-In-Shogi が適用される。

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

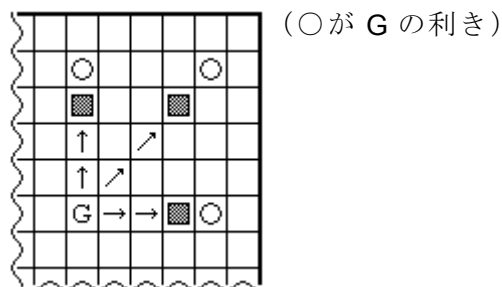
【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、

ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○が G の利き)

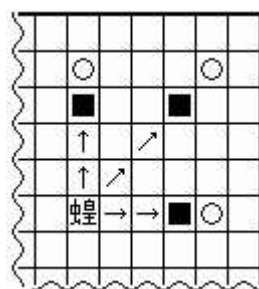
(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- ・成ることはできない。
- ・2つ以上の駒は飛び越せない。

【Locust】(蝗)

フェアリーチェスの Locust (蝗)。

Queen の利きの方向にある敵駒を跳び越えその1つ先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



(○が蝗の利き。

■は敵駒。これを取って○に移動する。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていたりすると跳べない。)

【AntiAndernach】

玉以外の駒は、駒を取らない盤上の移動を行うと、着手後に相手の駒となる。

(補足)

- ・細則は **Andernach** と同様に「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。
- 1) 駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合、相手の駒にならない。
 - 2) 相手の駒になるのは成生の選択後。
 - 3) 駒を取らない盤上の移動では、相手陣二段目への桂の不成、一段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）。
- ★初出：第60回 WFP 作品展 (WFP68号)

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判

定にも適用される。

(補足)

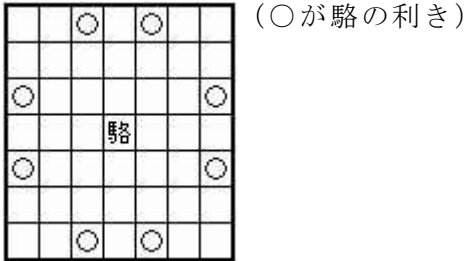
- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照：WFP75号「Imitatorの紹介」

【Camel】(駱)

Camel はフェアリーチェスの駒。

3対1の方向に跳ぶ八方桂。

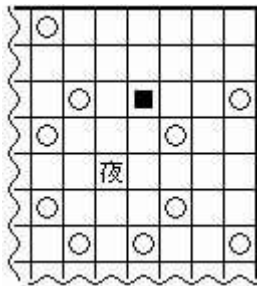


(○が駱の利き)

【NightRider】(夜)

フェアリーチェスの NightRider。

ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。
 ■に駒があるとそこから先には利かない。)

【最悪詰】

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

(補足)

- ・「詰める側」と「詰みを防ぐ側」が通常とは逆になっている。このため用語も逆になっており、「紛れ」を受方に、「変化」を攻方に使う。

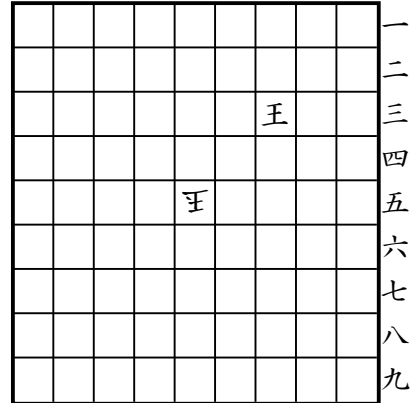


<第 119 回>解答締切:2020年4月15日(水)

■ 119-1 神無太郎氏作

点鏡協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

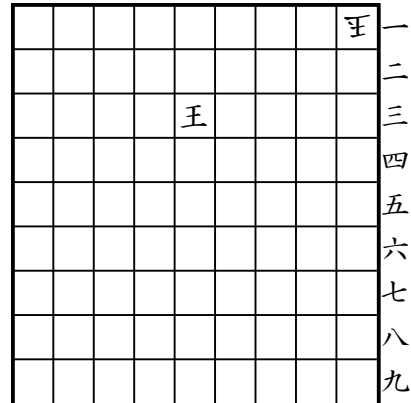


持駒 角

■ 119-2 神無太郎氏作

点鏡協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

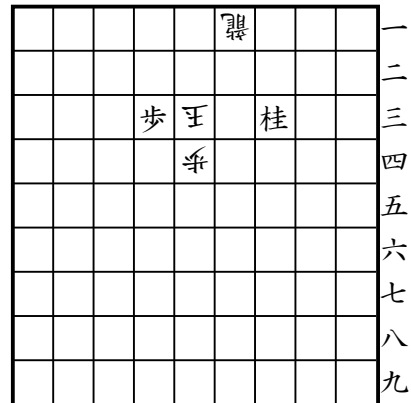


持駒 角

■ 119-3 占魚亭氏作

PWC-Koko協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 n飛

※持駒の飛は中立駒

■ 119-4 高坂研氏作

協力白玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
					王	銀		三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛角

※透明駒：攻方 0枚、受方 1枚

■ 119-5 変寝夢氏作

協力白玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
							王	二
				王				三
								四
								五
								六
								七
								八
汝								九

持駒 なし

※汝:Siren

■ 119-6 変寝夢氏作

全Andernach協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
				飛	飛	王		五
								六
								七
								八
								九

持駒 角

■ 119-7 はなさかしろう氏作

All-in-推理 Shogi 問 3

[条件]

①7手で詰み

②後手の着手は全て先手陣内の駒を先手陣外に出す手

■ 119-8 はなさかしろう氏作

All-in-推理 Shogi 問 4

[条件]

①7手で詰み

②7筋への先手の2度目の着手は72金

■ 119-9 たくぼん氏作

協力詰 107手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
歩	金	桂	歩	銀				四
金	香	桂	金	飛	銀	銀		五
銀			香	香	香	金		六
	桂		歩	王	歩	桂	馬	七
	ス	ス	ス				飛	八
	ス		ス	ス	王			九

持駒 角

■ 119-10 上田吉一氏作

協力白玉スタイルメイト 10手 (2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
							金	三
								四
								五
								六
								七
								八
				王				九

持駒 G

※G:Grasshopper

■ 119-11 上田吉一氏作

協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
						王				八
										九
										九

持駒 銀4

※蝗:Locust



<第 120 回>解答締切:2020年5月15日(金)

■ 120-1 高坂研氏作

協力白玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									玉	一
										二
										三
						角				四
										五
									香	六
									王	七
										八
										九

持駒 なし

※透明駒:攻方0枚、受方2枚

■ 120-2 高坂研氏作

協力白玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					銀	王				一
					歩				王	二
										三
							桂			四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

※透明駒:攻方1枚、受方1枚
逆算可能性を要請

■ 120-3 占魚亭氏作

AntiAndernach協力詰 7手 (※2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
							王			二
										三
										四
							王			五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 駱

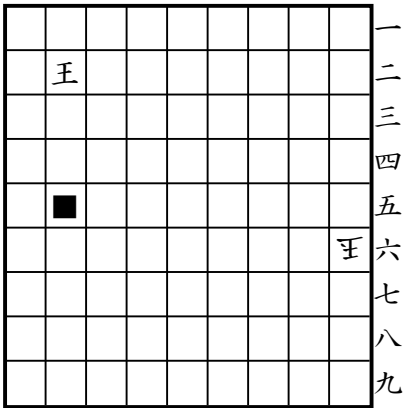
受方持駒 なし

※■:Imitator、駱:Camel

■ 120-4 占魚亭氏作

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



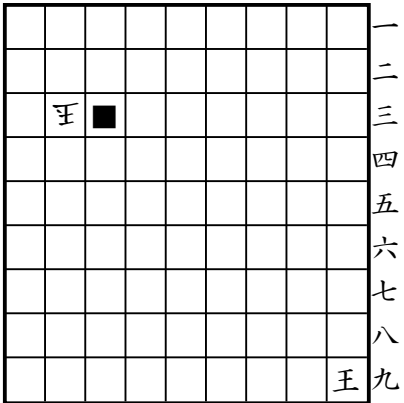
持駒 夜

※■:Imitator、夜:Nightrider

■ 120-5 神無太郎氏作

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 n銀

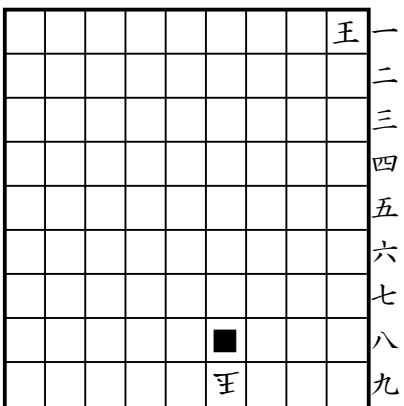
※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 120-6 神無太郎氏作

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 n飛

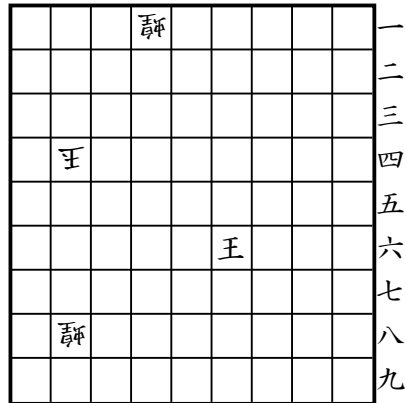
※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 120-7 上田吉一氏作

a) 協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

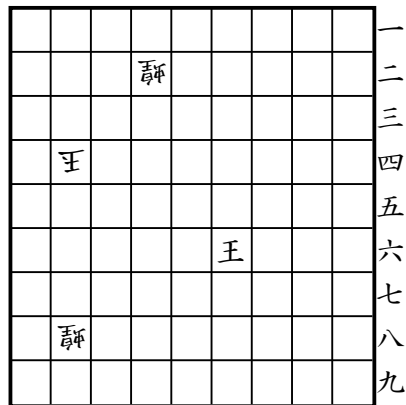


持駒 飛角

※蝗:Locust

b) 協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



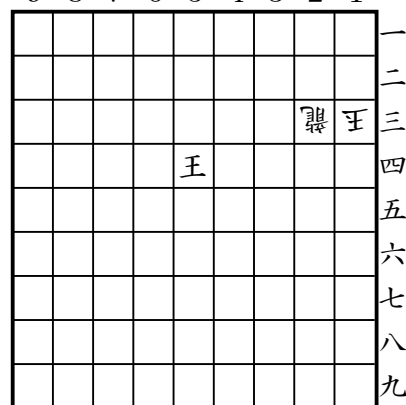
持駒 飛角

※蝗:Locust

■ 120-8 上田吉一氏作

協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 G

※G:Grasshopper

■ 120-9 変寝夢氏作

全Andernach協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
				王					八
									九

持駒 金香2

■ 120-10 真T氏作

最悪詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		と	糸						二
飛									三
王	角		角						四
	歩								五
王	銀			飛					六
									七
									八
									九

持駒 桂香

以上



「第 52 回神無一族の氾濫」投稿作品募集

「第 52 回神無一族の氾濫」への参加を募ります。今回のお題は「**ルールの回避**」です。

フェアリーはそのルール独自の着手を強調することが多いですが、逆にそのルール独自の着手を防ぐ狙いを含む作品を募集します。

例)

- ・「強欲」で駒を取らずに済む着手を選ぶ
- ・「対面」で性能変化を回避する
- ・「キルケ」で駒の復活を防ぐ

このように「与えられたルール独自の効果が発動することを回避する」狙いを持った天邪鬼な作品をお寄せください。

また、1 題通常の協力詰（ばか詰）を募集します。こちらはお題とは関係なくても構いませんが、協力詰なのに協力していないように見える作品であれば優先して採用します。

作品要件	ルールの回避
募集締切	2020 年 4 月 19 日（日）
募集作品数	4 + 1（協力詰枠）
送り先	神無七郎（k7ro.ts@gmail.com） 上記宛先へ E-mail でお送りください。
備考	1 人何作でも投稿可。 採否は 4 月 26 日までに通知します。



推理将棋第126回出題(3/15 修正)

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第126回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2020年4月10日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第126回解答」でお願いします。

推理将棋第126回出題 担当 Pontamon

新型コロナウイルス関係で外出自粛もあり自宅で過ごす時間が長くなっていることでしょうか。そんな皆さんへの今月の出題はツインを含め実質4題の出題です。初級は担当からの9手詰。36桂の役割がわかれば攻めも見えてくる易問です。

中級は、ミニベロさんからの10手詰。三捨利警部登場は83-2以来となります。

上級は、緑衾さんからの12手詰ツインです。58 飛が初手と3手目の違いで詰み上がり異なる手順を探してください。

■ 本出題

126-1 初級 Pontamon 作 好手36桂 9手

先手が最速で桂を入手する手順は何通り？

126-2 中級 ミニベロ作 三捨利警部の推理・桂にまつわる10手詰 10手 桂成での詰みは多いですが、成る手なしの桂着手で詰む形を推理しましょう。

126-3 上級 ミニベロ作 緑衾作 ズロ目のマス 12手×2

最終手はズロ目マスにある駒を動かして駒を取りますが、打てる駒を持っている必要があります。

126-1 初級 Pontamon 作 好手36桂 9手

「たった9手で詰まされたよ」
「どんな将棋だった？」
「36桂の着手が好手だね」

(条件)
・9手で詰み

・36桂の着手があった

126-2 中級 ミニベロ 作 三捨利警部の推理・桂にまつわる10手詰 10手

「警部、10手詰の事件が発生しました。被害者は最初から逃げようとしたようです」

「凶器は何かね？」

「とどめは桂のようです。4手目・6手目にも使われていますね」

「久々なんだから、もっと証拠集めてよ」

「8手目は、桂の頭に痕跡がありますね」

「成る手もなしか。これは難事件だな。久々なんだから、もう少し簡単な事件にしてほしいよ」

(条件)

- ・10手詰
- ・初手は玉
- ・4手目も6手目も10手目も桂
- ・8手目は桂頭
- ・成る手なし

126-3 上級 緑衾 作 ズロ目のマス 12手×2

「2局とも12手目に持ち駒の角を打たず、盤上の駒移動で駒を取る2度目の王手で詰ませたよ」

「どんな将棋だったの？」

「共通点はやっぱり後手が最初と最後の手以外をズロ目のマスへ指してた点だね。」

それと11手目が6筋の手で駒成と金の手がなかった点かな」

「ズロ目のマスって1一や8八のような筋と段の数が同じマスのことだね。じゃあ違う点は？」

「1局目は初手に5八飛と指してたけど2局目は3手目に指してたよ。詰めあがりも違った」

(条件)

- ・2局どちらも12手目に持ち駒の角を打たず、盤上の駒移動で駒を取る2度目の王手で詰んだ
- ・どちらも後手は最初と最後の手以外を筋と段の数が同じマスへ指した
- ・どちらも11手目が6筋の手で駒成と金の手がなかった
- ・1局目は初手に2局目は3手目に5八飛と指して詰めあがりも違った

東京オリンピック開催？記念作品展

2020年東京オリンピックを記念して作品展を開催します。なおコロナウイルスの関係で実際東京オリンピック、パラリンピックが開催されるかどうか微妙な情勢でもありますので「？」を仮に入れさせていただきました。

(解答先)

→たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

解答締切：2020年5月15日(金)

第1番 神無太郎作

協力詰 23手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		王	王	王					四
									五
			金	金					六
									七
									八
									九

持駒 なし

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

作者コメント：初形五輪マークのつもりです。

第2番 Pontamon 作

銅だった 9手×2

会話

「件名が『銅だった』の空メールが来たけどオリンピックの話？」

「9手で詰めた将棋の話なんだ」

「銅と言えば、銅将や酔象の駒がある中将棋の話かな？」

「いや、本将棋で同の付く手を先手から見て金

の右隣へ指して詰めたんだ」

「なるほど、金へんに同で銅か。それなら僕も経験あるよ。王手2回だろ？」

「いや、僕は初王手で詰めたんだ」

共通条件

- ・9手で詰み
- ・最終手は同の付く手を先手から見て金の右隣へ指した

共通条件を満たす、王手1回と2回のそれぞれの手順を解答してください。

第3番 Pontamon 作

金銀を取った

会話

「金を取った、銀も取った」

「オリンピックでメダルを取ったの？」

「いや、将棋だよ。銅は無いけど同の手で金銀を含む3つの駒を取ったんだ。五輪と言えば5筋の手と5段目の手もあったね」

「それで結果は？」

「駒成はなくて10手で詰めたよ」

条件

- ・駒成なく10手で詰み
- ・同の手で、金銀を含む3つの駒を取った
- ・5筋の着手と5段目の着手があった

第4番 Pontamon 作

五輪4回

会話

「僕は初めてですが、日本でのオリンピックは今回で4回目なんですね」

「64年東京、72年札幌、98年長野。五輪4回を見ることになるとは」

「おっと、成駒の着手がない11手で詰んじゃった」

「五輪4回なんて言ってたら、5段目着手が3～6筋の4回あった」

「5段目着手の次の5段目着手が一度も隣の筋にはならなかったですね」

条件

- ・成駒の着手は無く、11手で詰み
- ・3～6筋の5段目着手があり、その着手順が隣の筋にはならなかった

第5番 神無七郎作

受方不動玉取禁協力詰 117手

持駒 なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				桂			歩		二
				Q					三
			金	金					四
			銀	玉	角				五
				飛	龍				六
									七
			歩		歩				八
									九

持駒 なし

※53はQueenの性能を持つ攻方玉

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【受方不動玉】

手順中に受方玉を動かす手があってはならない。

(補足)

- ・あくまで手順中に受方玉を動かす手が出ないだけ。玉自体は利きを保持しており、「詰」の判定も通常通り。玉を逃す受けがあれば不詰。

【取禁】

手順中に駒を取る手があってはならない。

(補足)

- ・あくまで手順中に駒を取る手が出ないだけ。「詰」の判定も通常通り。駒を取る受けがあれば不詰。

【Queen】(Q)

チェスのQueen。飛車と角を合わせた性能を持つ。本局では攻方玉がQueenの性能になっている。(受方玉は通常の玉の性能。)

作者コメント

攻方Q王のヴァリアシオン(独舞)。かなり昔の作品ですが、ダイナミックに飛び回る攻方Q王をアスリートに見立て、「東京オリンピック開催記念作品展」に投稿します。手順は駒の入替えパズルです。

第6番 たくぼん作

東京オリンピック組曲

6-1

強欲協力詰 101手

9	8	7	6	5	4	3	2	1					
				歩	歩	歩	歩		龍	一			
							と	と		二			
				歩	龍	香		桂		三			
				歩	龍	香	角		香	桂	四		
				龍		ス	香	ス		金	ス	五	
						金	桂	ス		と	ス	六	
						銀		と		龍	飛	ス	七
									桂			王	八
									香	金			九

持駒 なし

6-2

強欲協力詰 63手

9	8	7	6	5	4	3	2	1				
				ス	ス	金				一		
					歩	歩	歩			二		
						と		歩		三		
				銀				歩		桂	四	
				龍	歩		香			桂	五	
				銀	歩	香	香	龍		桂	六	
				歩	ス	ス	歩			歩	七	
				王	角	歩	歩	香	金	飛	龍	八
				歩					金	銀	桂	九

持駒 なし

6-3

強欲協力詰 67手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王			ス	香	銀		と		一
			香	龍			香	と	二
		銀		金		桂		香	三
	歩					ス			四
					香	ス		ス	五
		ス	香	歩	歩	龍		科	六
		金	銀	と	ス	香	角		七
馬			と	と	銀	香	歩	桂	八
						桂		香	九

持駒 なし

6-4

強欲協力詰 73手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	と	と	と	と	と		と	香	一
金							と	香	二
							と		三
香							と	と	四
桂	銀		歩	科	香			と	五
歩	歩		銀	角	香	歩			六
	金	桂	香		馬	香	香		七
				桂	歩	香		香	八
						王	銀	香	九

持駒 なし

6-5

強欲協力詰 63手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	角	飛	香	香	香	と	と	と	一
と		歩	歩	歩					二
と								香	三
			銀					香	四
			銀		歩	銀		香	五
香	歩	飛	ス		香			香	六
歩			ス	桂	香	歩		香	七
	王				香		歩	桂	八
				香	桂				九

持駒 なし

6-6

強欲協力詰 45手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	香	と					と		一
香	香	科						香	二
	香						香		三
			と		と	歩		ス	四
			香	銀	香		香	銀	五
金	香			香			香	香	六
	科	歩	歩	香	と		香	歩	七
金		香			桂	ス	ス	香	八
	ス					桂			九

持駒 なし

【強欲】駒を取る手を優先して着手を選ぶ

【作者コメント】

お約束の強欲協力詰によるあぶり出し組曲です。中には手ごわいのもあるかと思いますがよろしくお願いします。

第118回WFP作品展結果 担当：神無七郎

第118回WFP作品展の結果を報告します。
 今回の出題は全10題（ツインが2つあるので実質12題）。解答者数6名。全題正解者1名。
 解答の内訳は以下の通りです。

〔第118回WFP作品展成績〕（敬称略）

○:正解 ×:誤解 -:無解

解答者名	1	2a	2b	3	4	5	6a	6b	7	8	9	10	計
真T	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11
占魚亭	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	9
はなさかしろう	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	7
一乗谷酔象	-	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	6
変寝夢	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	-	-	4

解答者数は相変わらず低調ですが、今回は正解が多数寄せられ、解答成績は良好でした。久々の本誌登場となった真T氏が見事全題正解を達成したのを始め、多くの正解が寄せられて担当としても嬉しい限りです。次回は難度が上がりますが、この調子でお願いします。

■ 118-1 占魚亭氏作（正解3名）

点鏡二玉協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
				王						二
										三
									王	四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 角

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰める。

• 点鏡

55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

（補足）

• 行き所のない駒の禁則は適用されない

★本誌初出:第108回WFP作品展(WFP127号)

• 二玉詰（または多玉詰）

複数の玉を使用する。

どの玉に対しても王手放置は禁手。

王手を外せなければ詰み。

★本誌初出;第41回WFP作品展(WFP45号)

【解答】

58角 52飛 同角成 32玉 58飛 まで5手

（詰上り）

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
				馬		王				二
										三
									王	四
										五
										六
										七
				飛						八
										九

持駒 なし

【作者のコメント】

同地点への大駒打ち。

点鏡らしさが出ていると思います。

【解説】

二玉詰の定番、「玉の両取り」の詰上り。

でも、それをありふれた手段、例えば「飛を入手して飛で両取り」で実現してもだめです。「点鏡」なので大抵の王手は対称位置に駒を打つことで逃れてしまいます。

正解は対称位置の同時利用。対称位置にある2つの駒で両取りを掛けてしまえば、対称位置が埋まっているので受けがないわけです。

普通に考えると、この点鏡独特の両取りが作品の狙いのように思えますが、作者の主張はそこではありません。初手と最終手。同じ位置の玉の同じ位置から王手しているのに、駒種が違うというのが真の狙いです。初手は角。最終手は飛。この2つの駒は利きに重複がなく、通常であればこのような現象は起こりません。

本局でそれを可能にしているのは「点鏡」による性能変化。詰上りの58飛は、中身が馬なので、角と同じ位置から王手を掛けられるというわけです。

皆さんも他のルールや他の駒の組み合わせで「違う駒で同じ位置から同じ位置の玉へ王手」ができないか考えてみてください。

【短評】

真Tさん

合駒と思い苦戦。点鏡で駒を稼げるんですね。

変寝夢さん（※無解）

69角、58合、同角、52玉ばかり読んでました。

なるほど、見たこともない両王手ですね。

たくぼんさん

対する位置で違う駒での両王手が新鮮。

☆次局もそうですが、最終手を「両取り」ではなく「両王手」と呼ぶ人が多いですね。

「2つの駒で王手を掛ける」という意味では間違っていないんですが、何か違うような…

■ 118-2 占魚亭氏作（正解 a)3名 b)3名）

a) 点鏡二玉協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
		王							二
									三
				王					四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

b) 点鏡二玉協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					王				一
			王						二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

【解答】

a)52金 71玉 61金打 49角 62金寄 まで5手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		王	金						一
			金						二
									三
					王				四
									五
									六
									七
									八
					王				九

持駒 なし

b)42金 68角 32金打 78飛 31金左 まで5手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					王	金			一
			王			金			二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
					角	飛			九

持駒 なし

【作者のコメント】

2解の図(4三玉、6二玉)にもできますが、たまにはツインで。

点鏡+二玉は、これで打ち止めです。

【解説】

玉同士が近いので、普通なら金をベタベタと打って両取りに持ち込める形。しかし、「金を1枚支えに使って、もう1枚の金で両取り」という平凡な手段では失敗します。「点鏡」なので、対称位置に駒を打つ受けて逃れます。

その対策は2つの金が2つとも王手を掛ける形を作ること。金は近接王手しかできない駒なので、性能変化でこれを飛角桂香のどれかにする必要がありますのですが、最有力は利きの強い飛か角。つまり、飛や角に変身させた金を軸に、その利きを開く金で開き王手を掛け、それが両取りになる筋を狙います。

具体的に a)b)それぞれの作意を見てみましょう。開き王手の軸となる駒は a)は角、b)は飛。もう1枚の金は a)では性能変化なし。b)では角から本来の金の性能に戻っています。つまり、a)は金と角での両取り、b)は金と飛での両取りという対比でした。性能変化に着目すると、金が角から金に戻る b)の方が、いかにも「点鏡」らしい気がしますね。そのせいか、地味な a)が却って盲点になったという短評もありました。

「2枚の金で開き王手」という一般にはあり得ない現象を、「点鏡」という性能変化ルールを使って実現した作品でした。

【短評】

真Tさん

b)が先に解けました。a)も2枚駒を出すとはい、2手目が盲点でした。

変寝夢さん (※無解)

- a)詰め上がりを見ても、しばらくわからず漸く、6 1 金が3 4に利いていることに気がついた。
- b)最終手は imitator の感触。開き王手になっているとは気づかないなあ。

たくぼんさん

- a)不思議な両王手。
- b)a)と対比して飛打ちと考えた為角打になかなか辿り着けませんでした。

■ 118-3 高坂研氏作 (正解6名)

協力自玉詰 4手

				王			王		一
							飛		二
				歩					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

※透明駒:攻方0枚、受方1枚

【ルール】

•協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

•透明駒

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→参照：WFP83号「透明駒の紹介」

【解答】

22 金 同飛 31 金 同X まで 4手

(詰上り)

				王		X	王		一
							飛		二
				歩					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

※31 Xは飛または龍

【作者のコメント】

22 飛配置にすることで、31 の駒を取れるのが飛(龍)のみにする。

透明ば自入門といったところ。

【解説】

自玉を詰めるにはもう1枚大駒が必要な形。でも持駒は金だけなので、合駒は出せません。そこで、盤上に透明駒の飛があることにして、二枚飛車で自玉を詰める筋を狙います。

冒頭の「22金 同飛」の2手はその下準備。

いきなり「31金 同X」では、Xが角や銀などの斜めに動く駒だったことになります。

また、最初の2手を「12金 同飛」としてもいけません。「31金 同X」のとき、13角（または馬）が金を取った可能性が残るからです。

透明駒の受方の着手で仮定して良いのは合法性のみ。ルールが協力自玉詰でも、「詰んだこと」や「最終手は王手であること」を推論の前提に含めてはいけません。

その点、「22金 同飛」をしておけば斜めの駒取りを心配する必要はありません。53歩の配置があるので、左側から角（馬）で取られる手も消えています。もちろん、最終手の「同X」が「同金」や「同銀」である可能性もありません。初手22金の合法性から、王手放置である41金や32銀の存在の可能性も消滅しているのです。

ちょっと洒落た手順を読むなら「11金 同X 22金 同玉」などの手順も浮かびますが、最終手が王手とは限りません。繰り返しになりますが、透明駒の着手で仮定して良いのは、攻方は「合法的な王手」、受方は「合法手」のみです。

本局は簡潔な配置で透明駒による詰上りを実現しており、透明駒を使った協力自玉詰の入門編にふさわしい作品だったと思います。

念のために付け加えると、協力自玉詰では「双玉であること」を推論の前提に加えることができます（これは118-5で関連してきます）。推論の前提に何が使えて何が使えないかは「暗黙の了解」ではなく、成文化されるのが望ましいのですが、現状ではその都度言及することになるでしょう。

【短評】

真Tさん

53歩が大きなヒント。

変寝夢さん

1 1金から読むとひどい目に遭いそう。

5 3歩が苦心の配置か。

たくぼんさん

初手12金ではダメなところがあるほど。

占魚亭さん

2手目同飛で透明駒が角/馬/銀である可能性を排除、ということですね。

はなさかしろうさん

31を取れる駒が飛龍以外にはないようにするんですね。

一乗谷酔象さん

馬角を消す初手。

■ 118-4 高坂研氏作（正解4名）

協力自玉詰4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王			一
			王	金					二
									三
									四
									五
							飛		六
									七
									八
									九

持駒 角

※透明駒:攻方0枚、受方1枚

【解答】

16角 34飛 42金 同X まで4手 (詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王			一
			王	X					二
									三
							飛		四
									五
							飛	角	六
									七
									八
									九

持駒 なし

※42Xは銀・角・馬のいずれか

【作者のコメント】

わざわざピンしておいて金を動かす、この心理的な抵抗感が狙い。結構指しにくい1手ではないかと思っているが、どうだろうか？

【解説】

まるで反則のような手（ここでは擬似反則手と呼びます）を指すのは透明駒の位置や種類を絞り込む手筋ですが、本局はそれを一歩進め、擬似反則手を指すための下準備を整えてから、それを実行する作品です。

初形は「42金 同X」としたい形。しかし、Xが強力な駒でないと詰みません。続けて「41角 同X」としても、Xが金なら詰みですが、Xが飛の可能性が残っているため詰みません。本局を詰めるには大きな発想の転換が必要です。

冒頭の「16角 34飛」は協力自玉詰では避けたい手です。なぜなら 34飛で詰めるには角の利きを逸らすか消さねばならず、4手ではそんな余裕はないからです。

しかし、例外はあります。

ピン止めを解除しないまま詰める手筋は、「銀杏返し」と「両王手」の2つが代表的なものです。本局で狙うのは後者、「両王手」です。

続く3手目42金が透明駒作品ならではの擬似反則手。自玉を飛の利きに晒す反則に見えますが、これが反則でないためには、途中で遮蔽物がなくてははいけません。つまり、これで33に透明駒があることとなります。更にこれを「同X」と取ることにより、それが斜めに引ける駒、銀・角・馬のいずれかであることが決まります。

透明駒の種類は確定しませんが、これが両王手になっていることは確定しているので、34飛を角で取っても逃れになりません。安心して「詰」と言えるわけです。

擬似的なピン止め駒を発生させ、擬似的な反則で透明駒の位置を絞り込み、それを動かして両王手の詰み。今回の作者の透明駒作品群の中でもひととき印象的な作品です。

【短評】

真Tさん

初形を見て16角がパッと見えました。そんな手はあるわけないかと思ったら、そんな手でした！うまい！

変寝夢さん（※無解）

詰め上がりが浮かばない。最後は41金、+41か41角、+41とは思うが。

たくぼんさん

33の地点に受方角か銀で最終手両王手で詰み。ちょっと見え難い順でした。

占魚亭さん（※無解）

4二金、同1、4一角、同1まで4手。

これしか浮かびませんでした。

ただ、この手順だと透明駒が飛車の可能性を潰せていない……。

はなさかしろうさん

透明駒の位置をこんな形で証明できるんですね。

一乗谷酔象さん

両王手で決める。

☆解答者の短評を読むと、41Xまでの詰上りを諦めて、別の詰上りを探したかどうかで、解けるかどうか分かれたようです。やはり、両王手の詰上りは相当意外性がありますね。

■ 118-5 高坂研氏作（正解6名）

協力自玉詰4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
				角					五
				飛					六
									七
									八
								銀王	九

持駒 金

※透明駒:攻方1枚、受方0枚

【解答】（※判明した透明駒を括弧内に記述）

16飛 28飛(X=17玉) 18金 同銀成 まで4手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			角						五
								飛	六
								王	七
							王	王	八
								王	九

持駒 なし

【作者のコメント】

先手玉を透明にした例。

これ以外には、先手の透明玉を可視化する簡潔な意味付けを見つけれなかった。

【解説】

攻方透明駒が1枚だけ。盤上に自玉がなく、ルールが「協力自玉詰」であることから、透明駒の種類は玉に確定。決まっていないのは場所だけです。

この位置を決めるのが擬似反則の手筋。

本局の擬似反則は「両王手に対して逃げない」こと。2手目の28飛がそれで、これが正当化されるのは17か18に透明駒がある場合のみ。透明駒は自玉しかないのだから17王が確定します。

ちなみに透明駒を使わず、初形に17王を置いても唯一解の完全作になります。自玉を透明駒化することで紛れは増えていますが、協力自玉詰に慣れた人なら16飛は第一感なので、解図は難しくなかったと思います。

【短評】

真工さん

透明駒はなんか敬遠していましたが、今回の作品を解いて、興味を持ちました。

変寝夢さん

かなり苦戦したが、28飛に気がつき解決。

たくぼんさん

いかにも先手王が17にいそうな形。でも28飛はちょっと見え難かった。

占魚亭さん

2手目の応手で攻方王の位置を確定させるわけですね。

はなさかしろうさん

こちらは透明玉の位置の証明ですね。

一乗谷酔象さん

玉は飛車の陰に置く。



■ 118-6 神無太郎氏作 (正解 a) 3名 b) 3名)

a) 点鏡協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								王	三
									四
									五
									六
									七
									八
				王					九

持駒 角

b) 点鏡協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								王	三
									四
									五
									六
									七
									八
				王					九

持駒 角

【解答】

a) 95 角 15 飛 同角 26 飛 99 飛 11 香
まで 6 手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										皇
										王
										角
								飛		
飛				王						

持駒 なし

b) 15 角 95 飛 同角 86 歩 89 飛 21 香
まで 6 手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										皇
								王		
角										
	歩									
飛				王						

持駒 なし

【解説】

角の真横への大移動。左から右に飛ぶ a)と、右から左に飛ぶ b)。自玉の位置が1マス違うだけで、飛ぶ方向が正反対になるツインです。

詰上りは共に飛の対称位置に香を打つ手。

a)では自玉が盤端にいるので、最強の合駒(飛)で2筋への逃げ道を塞ぎ、b)は自玉が盤端から離れているので、最弱の合駒(歩)に変身させます。a)は元々詰みやすい盤端に自玉がいること、b)は角に対する合駒の対称位置に自玉がいることを利用して詰ますわけですね。

形式的にも意味的にも綺麗な対比で、ツインのお手本のような作品だと思います。

【短評】

真Tさん

a)とb)で逆方向から。きれいにできてますね。

変寝夢さん(※無解)

a) 3手目同玉として失敗。以下26金、銀合が旨そうに思ったんだけど。

最終の香打は痺れますね。

b) 86歩が渋い一手。

たくぼんさん

初手左右から、4手目飛か歩、最終1路ずれと見事な対比。

占魚亭さん

王の位置が1路違うだけで頭3手の対称手順が実現できるとは!

■ 118-7 変寝夢氏作(正解6名)

駒全マネ禁協力自玉詰66手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								龍		
歩										王
王										

持駒 歩17

【ルール】

•駒全マネ禁

直前の指し手の駒種と同じ駒での着手を禁止する。

(補足)

•直前の指し手と同じ種類の駒を動かす手でしか詰みを回避するしかない場合や、玉を取る手にもこれを適用する。

•成駒と生駒は別種の駒として区別する。また、直前の手が「成」だった場合、成る前の駒種で判定する。

→参照: WFP132号「駒全マネ禁詰の紹介」

【解答】

「19歩 17玉 18歩 同玉」×16
19歩 同玉 まで 66手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
								龍		五
										六
										七
歩										八
王									王	九

持駒 なし

【作者のコメント】

25龍を飛に換えると、18手であつという間に詰んでしまいます。

【解説】

「駒全マネ禁」なら、こんな妙な手順で持駒消去を実現できることを示した一局。

初形で自玉に王手が掛かっており、これを取る手が逆王手にならないので、通常の協力自玉詰なら「不詰」になるところ。

しかし「駒全マネ禁」では自身で歩の王手を掛けることにより、歩の王手を防ぎつつ、王手を掛けることができます。攻方持駒に歩が残っている状態で19歩を取ると、王手でない場所に歩を打つ受けが残るため、攻方玉を詰めることに失敗します。そのため玉を逃げ、歩がなくなるまで王手の継続を可能とする4手サイクルの持駒消去が成立します。攻方持駒に余分な歩がなくなれば、19歩を同玉と取ることができ、この状態で詰むという仕組みです。

なお、作者のコメントにもあるように、25龍を飛にすると、飛を消した後、玉を88や89まで持ってくる早詰があります。歩を全部消す必要すらないわけです。玉で王手する手は駒全マネ禁の「必殺技」と呼んでも良いでしょう。

「持駒消去」は新しいルールで何ができるか試すチェックリストがあるとすれば、それに入れたい項目の一つです。本局は「駒全マネ禁」らしい手順で持駒消去を実現しており、チェックリストには二重丸が付くことでしょう。

もう一つ余談になりますが、本局は「駒全マネ禁」のルール下では逆算が行き詰まります。直前の手が98歩なら初手19歩が打てませんし、玉の移動ならばその前の攻方の着手が王手放置になるからです。ただ、本作品展では特に言及がない限り逆算可能であることは要求しません。あくまで出題図が初期局面であり、その局面より前の局面は元から存在しないものとみなしてください。最近はある着手が後続の着手の合法性に影響を与えるルール（駒全マネ禁だけでなくAll-in-Shogiもその一つ）が登場する機会が増えてきたので、改めて強調しておきます。

【短評】

真Tさん

先手玉への王手をずっと無視してる感じで不思議な感じ。

たくぼんさん

不思議な感覚になるくるくる趣向。

占魚亭さん

このルールの長編はこんな感じになるのか。楽しかったです。

はなさかしろうさん

これで詰んでしまう駒全マネ禁の不思議。

一乗谷酔象さん

歩がある限り受かる。



■ 118-8 変寝夢氏作 (正解 5 名)

All-in-Shogi協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		王						王	一
									二
									三
								逃	四
									五
									六
									七
		雀						飛	八
								包	九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※包:Pao

【ルール】

• All-in-Shogi

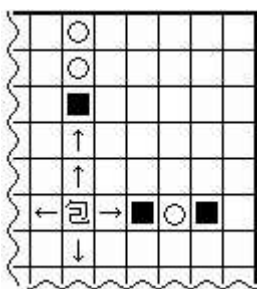
双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

(補足)

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
 - 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
 - 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
 - 4) 自玉を取らせる手は反則
- 参照：WFP122号「All-In-Shogiの紹介」

• Pao (包)

中国象棋の駒。動くときは飛車と同じ。駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る。



(■は敵か味方の駒。
○は取るときに動ける場所。矢印は駒を取らないときに動ける場所。)

(補足)

- 飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- グラスホッパーと違って着地場所は飛び越えた駒の隣でなくてもよい。
- 成ることはできない。

・ 2つ以上の駒は飛び越せない。

【解答】(※相手の駒を動かす手をvで記述)

18v 飛生 12馬 88v 飛生 99v 包 91包 81飛生
82v 飛 81飛打 まで 8手
(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

包	飛	王						王	一
	飛							雀	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

Pa と飛の軌跡が狙い。

【解説】

盤上を大きく駆け巡る飛と Pao (包)。

この豪快な手順を生み出すのが、包の「駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る」と「2つ以上の駒は飛び越せない」という性質です。これにより、王手を掛けるときは利き筋の遮蔽駒を1枚に減らし、王手を防ぐときは利き筋の遮蔽駒を2枚に増やすという応酬が繰り返されることとなります。唯一の例外は、4手目の99v包で、これは駒を取らないときは飛のように動くという性質を利用しています。

包は Locust 系の駒とは違い、ジャンプ台となる駒は取れません。従って 91包に 81飛とする詰型は想定しやすいでしょう。自玉の右側(例えば 21)に飛を置くとそれを包で取れてしまいます。ただし、自玉の二段目への逃走の防ぎ方と、手順の組み合わせは問題です。受方持駒が制限されているとはいえ、All-in-Shogiなので紛れは膨大で、かなり迷わされると思います。

ポイントは受方の 14 飛を動かして 18 飛を取らせてしまう初手。少し抵抗感がある手ですが、いつかは攻方の飛を受方に渡す必要がありますし、これに気付けば盤上を大きく使う作意手順も推測しやすいでしょう。

なお、初形の受方持駒制限や各駒の配置の意味

は以下の通りです。

- ・受方持駒に歩があると「84v 飛 17 歩 18v 歩」でも飛を渡すことができる
- ・馬が八段目に置いてあるのは 2 手目と 3 手目の手順前後を避けるため
- ・14 飛は 15~17 でも良いが、12 や 13 だと余詰

特に 14 飛を 13 飛としたときの余詰筋は興味深いものがあります。一例は「28 飛 12 馬 22 飛成 72v 龍 45v 馬 73 飛 18v 馬 72 馬 まで」。一つの王手駒をどけても、もう一つの王手駒が王手を掛ける形は All-in-Shogi の代表的な詰型の一つで、後の 118-10 でもこのタイプの詰型が使われます。なお、作意で同様の筋を辿ると最終手に 73v 馬で逃れることができます。何だか限定打に応用できそうな余詰筋ですね。

飛と包という親戚筋に当たる駒の類似性と相違点を上手く利用した作品だと思います。

【短評】

真Tさん

82 飛、81 飛の詰形は見えますが、12 から 82 に飛ばそうとして苦戦。大きく駒が動いて気持ちいい手順です。

たくぼんさん

紛れが多く詰上りの想定が難しかったが、包を大きく動かす感じだと考えたら何とかいけました。

占魚亭さん

飛と包の転回。なかなか面白かったです。



■ 118-9 はなさかしろう氏作 (正解 4 名)

All-in-推理 Shogi 問 1

[条件]

- ① 6 手で詰み
- ② 5 筋に着手した

【ルール】

・推理将棋

将棋についての会話 (または条件) をヒントに将棋の指し手を復元する。

・All-in-推理 Shogi

推理将棋と All-In-Shogi を組み合わせたもの。将棋の初期局面から条件に合う手順を求める点では推理将棋と同じだが、合法手や詰・不詰の判定に All-In-Shogi が適用される。

【解答】 (※相手の駒を動かす手を v で記述)

54v 歩 55 歩 56v 歩 57 歩成 56v 歩 58v 玉 まで 6 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
皇	科	銀	金	王	金	銀	科	皇	一	
	飛						角		二	
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	三	
									四	
									五	
				歩					六	
歩	歩	歩	歩	又	歩	歩	歩	歩	七	
	角			玉			飛		八	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九	

持駒 なし

【作者の解説及びコメント】

《 解図・作意 》

All-in-Shogi で詰みにするには、王手を掛けている駒を逸らすことで王手を免れることができないようにする必要があります (例えば、通常の推理将棋の最短である 7 手の詰形 11 通りは全て、王手を掛けている駒を逸らすことが可能であり、All-in-Shogi では詰んでいません)。これを実現するには以下の 3 通りの方法があると思います。

- 1) 2枚の駒で王手を掛ける(但し、通常の両王手の場合、駒位置を戻す王手回避に注意)。
- 2) 王手を掛ける駒をピンの配置になるように走り駒でひも付けする
- 3) 逸らせない駒で王手をかける

それぞれについての最短手数を検討しました。

3) 逸らせない駒で王手をかける。

通常将棋の、76歩、34歩、22角成、52玉、51角、54歩、11馬、55歩、54香までは、All-in-Shogiでも詰みですが、9手。

76歩、94歩、68玉、84歩、77玉、95歩、86玉、96玉までは、最終手がAll-in-Shogiらしい一手ですが、8手。

78金、54歩、38金、55歩、56歩(55)、57歩成、52飛、58とまでは、57とが一手前の局面に戻す手なので、All-in-Shogiでも詰みの形ですが、8手。

ならば、7段目のと金に歩でひもをつければにすれば良い、ということになります。

All-in-推理 Shogi 問1では5筋の問題にしましたが、4筋、6筋でも成立します。

作意解

54歩、55歩、56歩(55)、57歩成、56歩、58玉まで

この形はAll-in-Shogiならではの手を使っているため、通常将棋の詰みに応用しようとすると手数が嵩んでしまいます。

【解説】

実戦にAll-in-Shogiのルールを適用すると、どうなるか？

標準の盤駒がそのまま使えるルールの場合、そのルールで実戦を指したらどうなるかという試みは、しばしば行われてきました。本作はそれをAll-in-Shogiに適用し、推理将棋の形式に仕立てた問題です。

ただし今回出題された2題は、「推理」が中心ではなく、「最短手数探索」が中心です。

「問1」はAll-in-Shogiのルール下での純粋な最短手数を求める問題。「問2」はAll-in-Shogiのルール下で、All-in-Shogiに見えない最短手数を求める問題です。

実際、作者からは以下のように最短手数探索問題の提案もありました。

最短手数探索として、出題した以外のコンセプトに基づきつつ以下の要件を満たす手順も考えてみていただければと思います。

- ・ All-in-Shogi で、6手以下で詰む手順
- ・ 通常将棋でも All-in-Shogi でも詰んでいる状態に至る8手以下の手順

本作は「推理将棋」として出題されているわけですが、この結果稿を読んで興味を持った方は最短手数探索問題として、いろいろな条件下の最短手順について考えてみてください。

さて、問1はAll-in-Shogiの「1手前の局面に戻す着手は禁手」という性質を活かした問題。

「7手詰は推理将棋の基本」(<http://park6.wakwak.com/~k-oohasi/suiri/7tekihon.html>)という記事で紹介されている通り、将棋のルールでは6手以下の詰みはありません。無駄合概念を導入すれば6手で詰む形もありますが、それはまた別の話です。

ところがAll-in-Shogiのルールなら不可能だった6手詰が可能。答えを見れば、その手順は驚くほど簡単。ひたすら歩を動かして、と金を作り、そのと金を支える歩を打ち、と金の前に先手玉を持ってくるだけ。「1手前の局面に戻す着手は禁手」という性質により、玉を戻すことはできません。

作者によれば、本作のように5筋の歩を伸ばす手順以外に4筋と6筋の歩を伸ばす筋があり、6手詰はその3種だけだったそうです。解答者諸氏も角を動かす手から読んで苦戦しており、この手順の発見で本作は最短手数を求める“作業”から、意外な手順を求める“詰将棋”になったと思います。

【短評】

真Tさん

角を使うことばかり考えて苦戦。

やけくそで5筋の駒を動かしたら簡単でした。

この形で詰みとは…

変寝夢さん(※無解)

詰み筋が浮かばない。

56飛57馬に59->58玉にするには手数が足りない。

奇数手で逆王手は禁手なんですね。

たくぼんさん

角を使う手ばかりを考えていたが全然ダメで、条件の5筋に着手で閃きました。5手目が上手い手でした。

はなさかしろうさん

条件②は普通、「5筋への着手があった」と書くところですが、本問の場合、全ての手が5筋への着手なので、少し変えてみました。本問のシンプルな手順は4筋、6筋でも成立しますが、この他に6手以下の詰みはあるのでしょうか。7手は、通常の推理将棋以上にバリエーション豊かなのですが。

一乗谷酔象さん

All-inだとなんと6手で詰む。5筋にしか着手しなかったわけか。4筋か6筋でも同様の手順。

■ 118-10 はなさかしろう氏作 (正解3名)

All-in-推理 Shogi 問2

[条件]

- ①8手で詰み
- ②すべての着手は通常将棋ルールの合法手だった
- ③飛の手に対して成の手で応じたことがあった
- ④ひとつの枡の斜め隣への着手が先後通算3手続いたことがあった

【解答】

76歩 34歩 58飛 88角成 68玉 95角 77桂 同馬 まで 8手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
馬									五
		歩							六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
			玉	飛					八
香		銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

【作者の解説及びコメント】

2)王手を掛ける駒をピンの配置になるように走り駒でひも付けする

(前略)

ところで、これまではいずれも、1手前の局面に戻す手を禁止するルールを活用することで短手数詰みを実現しています。通常将棋ではこの手は禁手なので、通常将棋ルールの着手のみで詰む形を作るには8手必要と思われま

(中略)

通常将棋の場合は以下のように角馬の形を使うこととなります。

作意解

76歩、34歩、58飛、88角成、68玉、86角、77桂、同馬まで

【解説】

問2はAll-in-Shogiに見えない手順を求める天邪鬼な問題。「氾濫52」の募集作品のお題にも通じるところがありますね。

さて、本作は絨毯爆撃的に解こうとすると結構大変な問題です。推理将棋の「8手詰分類結果」(http://park6.wakwak.com/~k-oohasi/suiri/8tekihon.html)によると、8手詰のパターンは3420通り。ここから「All-in-Shogiだと詰んでいない」手順を除き、118-9のような「普通のルールだと詰んでいないがAll-in-Shogiだと詰みになる」という手順を加える必要があります。

要領の良い解き方はいくつかあると思いますが、118-9で考えた「無駄合概念を使った6手詰」を元にするのが最も手早い方法です。

手順の一例は「76歩 34歩 58飛 88角成 68玉 95角 まで」ですが、これを無駄合概念なしで成立させるために「77桂 同馬」の2手を加えると8手詰になります。そして、この詰上りはAll-in-Shogiでも「詰」になっています。王手を掛けている77馬を移動させても、95角が王手を掛けているからです。

これは118-8で14飛の配置を13飛に変えたときに生じる余詰筋と同種のもので、つまり「All-in-Shogi独自の詰上り」ではありませんが、「All-in-Shogiでも逃れにならない詰上り」です。フェアリーではとかくフェアリーらしさを求められがちですが、こういう微妙な路線を狙うフェアリー作品があっても良いと思います。

なお、本稿に収録した「作者の解説及びコメント」では残る「問3」「問4」のヒントになりそうな部分はカットしています。若干カットし過ぎたきらいもあるので、次回の結果稿で改めて全文収録したいと思います。

【短評】

真Tさん

まず詰上りを考える。
両王手には手数足りない。
ならばと2枚角の直列つなぎに思い当たりました。

たくぼんさん（※無解）

8手の全手順の中にあるのかな。
それ以外という可能性はないような。
見つけれませんでした。

はなさかしろうさん

6手合効かずには個人的に思い入れがあるのですが、非限定が多く、通常ルールでは選ぶにくい形でした。また、**All-in-Shogi** で定番の、相手玉を自駒の利きに呼び込む詰みを、外してみたかった、というのもあります。
All-in-Shogi ルールで条件①と②を満たすのは珍しいのではないかと思います。この形以外に8手以下で条件②を満たす形はあるでしょうか。通常推理将棋の7手で詰みの順は**All-in-Shogi** ルールでは全て詰んでいないので、7手以下はなさそうですが。

一乗谷酔象さん

角馬の二重王手は**All-in**でも外せない。
8手目、通常ルールなら非限定になるところ**All-in**ならではの限定。



【総評】

真Tさん

怪我をしてしまい、現在入院中です。
じっとしていてもできること…詰将棋しかありません。というわけで、久しぶりに詰将棋をやりましたが、やっぱり面白いですね。病室で将棋盤に並べて考えていたら、看護師さんから「一人将棋ですか？相手がいないくてつまらないですね」と言われ、(いやいや、めっちゃ面白いですよ。この作品のこの手順を見てください。面白すぎて困るぐらいです。)と思いつつ、「そうですね」と返す…入院生活も思いの外、悪くありません(笑)

☆真Tさんは久々の登場ですが、何と入院中とのこと。氏の活躍を見られるのは朗報ですが、ご本人にとっては不便この上ないことでしょう。一日も早い回復をお祈りしています。

たくぼんさん

今回はいけるかもと思ったら、最後につまずき時間切れ。無念。

☆新型コロナウイルスの感染拡大で様々なイベントが中止になっていますが、音楽愛好家にとっては有り難いできごともありました。いくつかの無観客公演がネットで配信されたことです。私は東京交響楽団の配信をニコ生で視聴したのですが、意外と（と言っては失礼ですが）音質が良く、満ち足りた時間を過ごすことができました。もっと凄いのは、ベルリン・フィルが「デジタル・コンサートホール」のすべてのコンテンツを今月末まで無料で公開したことです。筆者は以前「デジタル・コンサートホール」でライブを視聴したことがあるのですが、時差のせいで視聴が夜中になり、体調を崩してしまいました。それ以来「デジタル・コンサートホール」は利用していませんでしたが、過去の映像（アーカイブ）が充実しており、今回の公開をきっかけに再び興味が湧きました。日本のオーケストラは財政の安定している一部の団体を除いて大きな打撃を受けているようですが、何とか今の苦境を乗り切って、音楽文化を守って欲しいと願います。

以上

Fairy of the Forest #62 結果発表

- 2019年12月20日：課題発表：(協力詰)
「自由課題」
- 2020年02月15日：投稿締切
- 2020年02月20日：出題
- 2020年03月15日：解答締切
- 2020年03月20日：結果発表

■ 結果発表

【今回の解答者】(敬称略、到着順)
(○は全題正解者)

○神無七郎、○占魚亭、○たくぼん

■ 62-01 たくぼん 協力詰 43手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				ス	手	手		龍	一
					手	ス	手	王	二
				手	手	ス	龍	手	三
						手	手	手	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2銀4桂3歩3

21銀 同飛 11金 同玉 12歩 同龍
 23桂 同香 22銀 同玉 11銀 同飛
 21金 同玉 22歩 同と 32銀 同玉
 44桂 同と 33歩 21玉 32歩成 同圭
 33桂 31玉 41桂成 同金 42金 21玉
 32金 同と 33桂 31玉 41桂成 21玉
 31圭 22玉 32圭 同玉 33歩 22玉
 32金 まで 43手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				ス				龍	一
						金	王	龍	二
				手	手	歩	手	手	三
				ス	手	手	手		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

作者—加藤作(↓)に憧れて創作しましたが、見た目の美しさで遥かに及ばない作品となりました。手順でカバーしたいところですが果たして……。

☆加藤作は『詰将棋おもちゃ箱』の「加藤徹全作品」に収録されています。作意手順はそちらでご確認ください。普通詰将棋では到底詰められない形が詰んでしまうという意味で、協力詰の特性を如実に示す作品と言えます。

【加藤徹 詰パラ 1976年7月 ばか詰 41手】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	龍	手							一
手		手							二
角	角	龍							三
歩	歩	歩							四
			香						五
									六
									七
									八
									九

持駒 金4銀4桂4歩2

七郎—入替えパズル型の協力詰の創作は駒不足に悩まされることが多いので、その部分で新味を出すのは難しいですね。

☆1マスの空隙に持駒を捨てていき、守備駒を入れ替えていく所は両作とも共通しています。作者もおっしゃるように、初形美は加藤作の方が上ですが、完全無仕掛図にしたのが本作の取

り柄でしょうか。

占魚亭ーパズル系作品。33歩からの捌きがいい感じですよ。

☆33歩は21手目ですね。駒の入れ替えが済んで攻方に有利な態勢を築いた後は、守備駒を剥がしながら詰形を作っていきます。この点も加藤作と共通していますが、33桂～41桂成の繰り返しに工夫が見られます。

七郎ー持駒の金銀を使い果たしてからが本番。28手目同金が少し意外でした。金をすぐに取りれる同玉を優先したくなります。

☆28手目同玉だと、52金、31玉、42金、21玉、32金、同と、33桂以下で詰むのですが、どうしても作意より2手長くなってしまいます。

☆41手目33金に対し31玉や21玉だと12龍の利きで詰まないの、22玉と逃げて32金まで、腹金での詰上りとなります。

■ 62-02 たくぼん 協力詰 75手
受方の持駒：なし

銀	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		龍	
歩	歩									
歩									飛	
王										
入	香	香								玉

持駒 歩8

18 飛 97 玉 17 飛 96 玉
16 飛 26 歩 97 歩 同玉 17 飛 27 歩成
98 歩 96 玉
16 飛 26 と 97 歩 同玉 17 飛 37 と
98 歩 96 玉
16 飛 36 と 97 歩 同玉 17 飛 47 と
98 歩 96 玉
16 飛 46 と 97 歩 同玉 17 飛 57 と
98 歩 96 玉

16 飛 56 と 97 歩 同玉 17 飛 67 と
98 歩 96 玉

16 飛 66 と 97 歩 同玉 17 飛 77 と
98 歩 96 玉

16 飛 76 と 97 歩 同玉 17 飛 87 と
98 歩 ◎86 玉

○87 香 96 玉 16 飛 △87 玉 17 飛 96 玉
16 飛 □86 香 97 歩 同玉 98 歩 87 玉
17 飛 96 玉 97 歩 まで 75 手

(詰上り図)

銀	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		龍	
歩	歩									
王	歩									
歩									飛	
入	香									玉

持駒 なし

作者ーもっと凝った作品になるかもといろいろ弄っていましたが諦めてくるくる級に徹してみました。

☆1筋の攻方飛と9筋の受方玉を上下するだけでは局面が打開できないので、受方の歩(4手目96玉で入手)の合駒を利用します。つまり、16飛に26歩合から17飛に27歩成とした後は、98歩打～97歩突き捨てを絡ませながら、16飛にはと金引～17飛にはと金斜入という手順を繰り返します。そうすると、受方のと金が次第に左辺に移動していき、局面を打開することができるわけです。

占魚亭ーと金鋸が見事なフェアリー版くるくる。面白かったです。

☆と金が87まで来た時点で、98歩には◎86玉と応手が変わります。○87香は後で△87玉と受方に入手されますが、この香をどう使うかが、収束での考え所です。

七郎ーと金鋸の出現は予想通り。合駒させた香を取るという予想はハズレ。香は取らずに壁役

として使うのです。最も弱い歩で詰める突歩詰の収束は、どんなルールでも味わいがあります。

☆87 で取らせた香を□86 香と合駒させ、これを退路封鎖に使い、最後は突歩詰。くるくる級とはいえ、最後は考え所もあり、作者のまとめ方は成功していると思います。

■ 62-03 小林看空 協力詰 119 手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		龍	香							一
				銀						二
龍	馬	金								三
		香								四
香		金	歩							五
		と	と	桂	桂	桂	桂			六
			と	歩	銀	銀	歩			七
	玉	香	と	香	歩	歩	香			八
香	龍			王	角	金				九

持駒 なし

69 と 同玉 68 と 同玉 67 と 同玉
 66 と 同玉 76 金 55 玉 66 金 45 玉
 55 金 35 玉 45 金 25 玉 35 金 15 玉
 25 金 16 玉 15 金 17 玉 16 金 18 玉
 17 金 19 玉 18 金 同玉 29 金 17 玉
 18 金 16 玉 17 金 25 玉 16 金 35 玉
 25 金 45 玉 35 金 55 玉 45 金 65 玉
 55 金 66 玉 ◎65 金 67 玉 66 金 68 玉
 67 金 69 玉 68 金 59 玉 69 金 49 玉
 59 金 39 玉 49 金 29 玉 39 金 18 玉
 29 金 17 玉 18 金 16 玉 17 金 25 玉
 16 金 35 玉 25 金 45 玉 35 金 55 玉
 45 金 65 玉 55 金 66 玉 ○84 馬 75 角
 65 金 67 玉 △85 馬 76 金 66 金 68 玉
 □86 馬 同角 67 金 69 玉 68 金 59 玉
 69 金 49 玉 59 金 39 玉 49 金 29 玉
 39 金 18 玉 29 金 17 玉 18 金 16 玉
 17 金 25 玉 16 金 35 玉 25 金 45 玉
 35 金 55 玉 45 金 65 玉 55 金 75 玉
 76 香 84 玉 83 金 94 玉 84 金打 まで 119 手

(詰上り図)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		龍	香							一
				銀						二
龍	馬	金								三
王	金	香								四
香				金						五
	馬	香		桂	桂	桂	桂			六
				歩	銀	銀	歩			七
	玉			香	歩	歩	香			八
香	龍									九

持駒 なし

作者一月並ですが……。単純な理由でさらに1周するのが面白い?かも。

☆全体の構成とポイントは、以下の通り。

[初手～8手目]

6・7筋のと金捨てにより玉を誘導し、75金による金追いにつなげます。

[9手目～28手目]

75金が始動し、玉が長方形の攻駒ブロックの周囲を時計回りに半周します。65歩は金の動きを限定する小味な配置。

[29手目～60手目]

追い手を39金にバトンタッチし、反時計回りの金追いに変わります。45手目◎84馬に誘われますが75金合で、以下金追いを続け85馬に76角合としても、作意の合駒順を逆にした形となり、後述の通り失敗します。◎84馬の誘惑を退け、反時計回り1周目を終えます。途中、受方が49角を入手したため、角合ができるようになったことにご注意。

[61手目～98手目]

反時計回り金追い2周目に入ります。今度は途中で○84馬、75角合および△85馬、76金合を入れておきます。さらに□86馬、同角としておくのは、88王に対する81龍の利きを遮蔽するとともに、75玉の余地を作り、76香で金合を回収するための下準備です。

[99手目～最終手]

反時計回り3周目に入ります。ただし、途中半周ほどで、55金に75玉と脇道に逸れ、76香と金合を回収して、詰みに至ります。

たくぼんー実にシンプルな仕掛けで半周と反対廻り3周の旅。角を取らず意味が明確で素晴

らしい。

☆反対廻りの最後は実際には半周余りですが、シンプルな意味付けは楽しめますね。

占魚亭ー楽しい玉追い。

回収する金を打つ前に角を打つのがちょっとしたポイントでしょうか。

七郎ー45 手目馬でちょっかいを出すかどうか、角金の合駒の順番をどうするかで少しだけ迷いました。全体的には軽い頭の体操という感じですか。

☆作意は角合～金合の順番ですが、これを逆にすると、114 手目 75 玉のとき、76 角・86 金の形になっており、76 香と角合を回収しても、早い詰め手がありません。作意はここから、83 金～84 金打と最短手順で仕上げています。

【総評】

七郎ー今回も作品の方では参加できなかったのですが、解答の方で参加します。今年は花粉が早く舞い始めましたが、今は目のかゆみだけで済んでいるので、早めに解答を出しておきます。

☆花粉症は大変ですね。今年はそれに加え新型コロナウイルスも……。厄介なことになったものです。

たくぼんー自作2作で解くのは1作のみとちょっと物足りない感じです。易しい協力詰作家急募ですね。

☆出品に解答に、多方面でのご協力ありがとうございます。作家不足は悩みの種です。

Fairy of the Forest #63 課題発表

■ 2020年03月20日：課題発表：(協力詰)
「自由課題」

□ 2020年05月15日：投稿締切

□ 2020年05月20日：出題

□ 2020年06月15日：解答締切

□ 2020年06月20日：結果発表

■ 課題発表

コロナ騒動のせいで気分が晴れませんが、何とか頑張っていきたいものです。趣味の世界ぐらい楽しみましょう。作品投稿を大いに期待しております。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

推理将棋第124回出題解説

推理将棋第124回解説 担当 Pontamon

2020年最初の出題の年賀推理はいかがでしたでしょうか。手数も長くて難問揃いだったようですが、易しいヒント投入の効果もあってか19名からの解答をいただきました。解答、ありがとうございます。

124-1 初級 緑衾 作
銀世界 31手

「一面に雪が積もってきれいだね。あれを見ながら指し初めをしようか。

私は先手で令和2年に因んで最初の3手を2筋に指すよ。

その後は敵玉を詰ませる手以外はひたすら左銀を動かすことにするよ」

「じゃあ、後手の僕は元旦に因んで右銀を11手連続で動かすよ。

また、4手目を6二銀にして、歩と金の手は指さないことにするよ」

「予定通り進んで私が詰ませて勝ったね。

手数を数えてみると31手なのか。よし平成31年を惜しんでいることにしよう」

(条件)

- ・31手目で先手が詰ませた
- ・先手は最初の3手を2筋に指し、その後敵玉を詰ませる手以外は左銀を移動させた
- ・後手は右銀を11手連続で移動させた
- ・後手は4手目を6二銀として歩と金の手がなかった

出題のことば (担当 Pontamon)

先手の銀着手は12回、後手は少なくとも11回銀を動かしますが詰み形は？

締め切り前ヒント

2手目は△42玉。右銀が移動して行って42地点を埋めますが千日手に気をつけて。

推理将棋124-1 解答

▲26歩、△42玉、▲25歩、△62銀、▲24歩、△71銀、▲68銀、△32玉、▲79銀、△62銀、▲68銀、△71銀、▲79銀、△62銀、

▲68銀、△71銀、▲79銀、△62銀、▲68銀、△51銀、▲79銀、△42銀右、▲68銀、△51銀、▲79銀、△42銀右、▲68銀、△51銀、▲79銀、△42銀右、▲23歩成まで31手

(条件)

- ・31手目で先手が詰ませた
- ・先手は最初の3手を2筋に指し、その後敵玉を詰ませる手以外は左銀を移動させた (初手▲26歩、3手目▲25歩、5手目▲24歩、7手目～29手目▲68銀、▲79銀)
- ・後手は右銀を11手連続で移動させた (10手目～30手目△62銀、△71銀、△51銀、△42銀右)
- ・後手は4手目を6二銀として歩と金の手がなかった (4手目△62銀)

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科		帝		帝	科	皇		
二		飛				王	角			
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	と	歩	
四										
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
八		角						飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 歩

平成31年を惜しんだ31手の年賀推理になっていますが、隠されたテーマは千日手回避。記憶では推理将棋で千日手をテーマにした作品は千日手を成立させるものだけでした。千日手を回避すること自体が裏条件になっていることが斬新だと思っていたら、ここで年賀推理の出題待ちしている間に詰将棋パラダイスの2020年1月号でも千日手回避が手順限定に利用されている問題が出題されました。

先手の最初の3手は2筋着手で最後の詰める着手以外は左銀の移動だけなので詰み形は2筋の飛先の歩を突き進めて最後は▲23歩成であることは明確です。先手の左銀を移動し続けることができる着手は、▲68銀と▲79銀の行き来だけです。先手の着手がこの銀移動だけの場

合、後手の右銀も2地点の行き来だと千日手は最短12手で実現します。最初の▲68銀が7手目ですから、18手目に千日手になってしまうのでこれを回避するには後手は指し手を変えて新しい2地点の行き来をする必要があります。

詰み上がりは例の7手詰ですので、2手目△42玉、4手目は指定された△62銀の後、△32玉として△42飛ができるように一旦△51銀で通路を開けてから△42飛として残りは右銀の移動だけを指して詰めたのが参考図です。

参考図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	懸	丞		丞	懸	科	皇	一
					飛	王	馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
							歩		四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

参考図の10手目までは、▲26歩、△42玉、▲25歩、△62銀、▲24歩、△32玉、▲68銀、△51銀、▲79銀、△42飛です。

後手の右銀の着手回数を数えてみると10連続にしかありません。4手目の△62銀が指定されているためすぐには△42飛とはできないのが原因です。

となると、42を埋めるのは右銀が42へ移動して行くことになりませんが、4手目に62へ上がっているため11手連続の奇数手で2段目へ行くことができないため、62の銀は一旦71へ戻る必要があります。そのまま11手連続の銀着手をしてしまうと12連続になってしまうので、△71銀の次の手番では右銀以外の駒の着手が必要になります。詰みに必要な着手は30手目の△42銀以外には32への玉移動しかありませんので、2手目42玉、4手目は指定の△62銀、6手目で△71銀へ戻って、8手目を△32玉とすれば10手目からの後手の11手は右銀の移動に使えます。

2地点での銀の行き来だと6回目の銀移動で最初の地点へ戻ると同一局面が4回目になるので千日手になるため、6回目の銀移動では△51銀とします。その次に△62銀とするとそれも千日手なので、51と42間で銀を行き来することになります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

緑衾 (作者) 「千日手のルールの説明を入れるべきだったのでしょうか。ルールが変わったのは最近です。ただ、千日手がらみだと気づかせるのも狙いの一つなのでやりづらいです。」

■出題のことばで千日手のことに触れるつもりでしたが、斬新なテーマなのでヒント投入まで延ばしました。

NAOさん 「新年早々の千日手は避けましょう。」

■王手での千日手は負けなので絶対に避けなければいけません。

ミニベロさん 「なるほど！ 千日手回避という新しいテーマですね。柿ノ木様に言われて初めて気がつきました。かの「最後の審判」の推理将棋版のイメージですが、初級のテーマには重過ぎる感じ。柿ノ木が無いと、カウントが大変だし……。それにしても、よく思いつきますね。」

■この作品がきっかけで打ち歩詰めテーマの推理将棋を作りました。「最後の審判」は知らなかったので調べました。千日手と打ち歩詰めの両方が絡んでいる詰将棋なのですね。

ほっとさん 「解ける直前まで、どうやっても千日手になってしまい大混乱。」

■銀を動かすだけの単純な作業こそ難作業？

のくせにさん 「非限定だらけだと思っていたら追加ヒントでまさかのキーワード。千日手回避で限定させるのは新手筋でしょうか。」

■千日手回避の作品は記憶に無かったのですが、詰パラ1月号でも使われていて驚きました。全くの偶然だけど滅多にないことが同じ時期に集中してしまうことをあらかず言葉があったけど思い出せない。

リーグ戦ファンさん「いやあ、千日手回避とは！私が知らなかっただけかもしれませんが、推理将棋の新たな地平でした。最初の局面を中央の点（この場合62銀）から始めると、そこを通る端点（この場合71）には同じ回数行くことができない、って、位相系の数学パズルの基本アイデアですが、それが推理将棋で見られるのは嬉しいです。」

■「連続王手回数の条件」なのに連続王手の千日手成立直前までの手順が組み込まれていたりすると難問になるでしょう。そのような状況にできるのかな？

RINTAROさん「詰み形はすぐ見える。先手の指し手は決まっている。後手の指し手も9割方決まっている。

しかし解けない。後手の選択肢が多すぎる。71に引くのか、51に引くのか、最後も42飛なのか、42銀右なのか。

ヒントを見る。千日手????はあ？目から鱗であった。しかし、千日手が絡むと分かっても、一向に解ける気配はない。前述の疑問は全く解消されない。もしや、ミスディレクション……。4手目の62銀から11手連続の銀移動は始まらないんじゃないか……。？そして、8手目32玉で10手目から始まることに気が付く。あとは千日手にならない銀の動きを見つけるだけだ。

試行錯誤の末、正解を見つけたときは嬉しかった。ただ一つ言えることは、これが初級な訳がない（笑）」

■ほぼ銀を動かすだけなので初級にしてみました。

飯山修さん「成程千日手規約はここでも通用するのか」

■最初の解答は銀の12連続着手、再解答は銀の8連続着手でしたので11連続着手の条件を満たしていませんでした。

斧間徳子さん「暗算では千日手回避手順が考えにくく、紙とペンを要した。」

■暗算は大変。将棋ソフトだと千日手を教えてください。

山下誠さん「2筋の手から詰み形は必然なので、後手銀の手数合わせ問題でした。」

■そうなので初級にしましたが中々厄介だったようです。

たくぼんさん「後手の銀の動きだけで何回も千日手でやり直しさせられました。なかなか面白かったです。」

■62銀の局面の回数に気を付ければ、後半は51と42の行き来になるのですが慣れていない状況に戸惑ったことでしょう。

波多野賢太郎さん「意外に難しく、ヒントを見て解けました。詰み形はすぐわかり、千日手のことも気づいたのですが、なぜか6手目や8手目から銀を動かす順ばかり考えてしまいハマってしまいました。」

■右銀を動かす課題を与えられていると、つい早くから動かしてしまいます。

S.Kimuraさん「銀の11回連続を8手目から始めなくてはならないと勘違いしていたため、何度やっても千日手になって困ってしまいました。」

■30手目△42飛の先入観が邪魔したようですね。

津久井康雄さん「何とも悩ましいパズル。これで千日手ではないと思うのですが……」

■はい、正解です。

諏訪冬葉さん「千日手の検証が大変なので棄権します。」

■局面は盤上の駒配置、持ち駒、手番の3点セットなので検証は大変ですね。

D Jカートンさん「(千日手を自動で判定してくれる)柿木将棋で駒を動かしていたら31回

以上は「千日手です。」と言われた。」

■将棋ソフトの警告は強い味方。

緑衾さん「千日手のルールの説明を入れるべきだったのでしょ。ルールが変わったのは最近です。ただ、千日手がらみだと気づかせるのも狙いの一つなのでやりづらいです。」

■当初、出題のことばで千日手にふれるつもりでしたが、締め切り前ヒントへ持って行きました。最初から言わなくてよかった。

はなさかしろうさん「Kifuが千日手を自動検出してくれるので試行錯誤を楽しみましたが、きちんと考えて整理しないと解けなくて面白かったです。」

■先手は7手目から銀移動を開始しますが、後手着手では10手目から銀移動開始なのでそこが同一局面のスタート地点。

原岡望さん「千日手でないことの証明。

71 62 51 42 をそれぞれ

a b c d

79 68 をそれぞれ X Y とし後手先手の銀の位置をあわせて

aX =71 銀 79 銀のように示す。

26 歩 42 玉 25 歩 62 銀 24 歩 71 銀 68 銀

32 玉 と 8 手進んだとする。ここから 22 手を考える。

1 手目 79 銀の局面は aX となる。

aX-bX-cX-dX

| | | |

aY-bY-cY-dY

線で結んだ状態のみ遷移できる。

最初は aX で次は横に遷移。

一つの状態は 3 回まで

縦横交互に遷移する

最後に dX となる。以下の手順はこれを満たしている。9 手目から

79 銀 62 銀 68 銀 71 銀 79 銀 62 銀 68 銀

71 銀 79 銀 62 銀 68 銀 51 銀 79 銀 42 銀右

68 銀 51 銀 79 銀 42 銀 68 銀 51 銀 79 銀

42 銀右

最後に 23 歩成で終了

疲れしました。」

■千日手でないことの証明を理解するのも疲れしました。(笑)

神在月生さん「歩と金の手がなかった」というより「銀と玉の手しかなかった」(笑)

■飛を動かして銀移動できる箇所を増やせることへ誘導して自滅させる？

正解：15名

NAOさん ミニベロさん ほっとさん リーグ戦ファンさん RINTAROさん 斧間徳子さん たくぼんさん 波多野賢太郎さん

S.Kimuraさん 津久井康雄さん DJカートンさん 緑衾さん はなさかしろうさん 原岡望さん 神在月生さん

新年早々の余詰作で申し訳ありませんでした。

1 2 4-2 中級 Pontamon 作 2020 と言えば 20 手

「明けましておめでとう」

「おめでとう。今年は 2020 年、20 と 20 と言えど？」

「そりゃ、20 枚対 20 枚の駒で戦う将棋だよ」

「今年は令和 2 年だから、2 筋の着手だけで指し初めと行くか！」

「では、お願いします」

「互いに駒成りすることもなく、この 20 手目で詰んだな」

「参りました。ルールを忘れて 2 筋以外の手を 1 手指してしまつてごめん」

「僕は歩で角を取ったけど、23 へ不成した歩で 22 の角を取ってれば違った展開だったと思うよ」

(条件)

・駒成なく 20 手で詰んだ

・先手の 1 手以外は全て 2 筋着手

・後手は歩で角を取り、先手は 23 へ不成した歩で 22 の角を取らなかつた

出題のことば (担当 Pontamon)

後手の着手は 2 筋だけ。不可解な 22 の後手角と 23 の先手歩の謎を解こう。

締め切り前ヒント

詰み上がりは 8, 9 段の二枚飛車。▲23 歩

不成時点では後手角は無く、△22角は18手目の手待ち着手。

余詰修正

会話へ"僕は歩で角を取ったけど、"を追加して

「僕は歩で角を取ったけど、23へ不成した歩で22の角を取ってれば違った展開だったと思うよ」

条件へ"後手は歩で角を取り、先手は"を追加して

- ・後手は歩で角を取り、先手は23へ不成した歩で22の角を取らなかった

推理将棋 1 2 4 - 2 解答 担当 Pontamon

▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、△27歩、▲22飛不成、△同飛、▲28角、△同歩不成、▲同銀、△同飛不成、▲24歩、△29飛不成、▲23歩不成、△28飛不成、▲38金、△22角、▲27金、△29飛打まで20手

(条件)

- ・駒成なく20手で詰んだ(10手目△28同歩不成、12手目△28同飛不成、14手目△29飛不成、15手目▲23歩不成、16手目△28飛不成)
- ・先手の1手以外は全て2筋着手(17手目▲38金以外)
- ・23歩不成した歩で角を取らなかった(15手目▲23歩不成、18手目△22角)

詰上り図

後手の持駒：銀桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	王	王	將	科	皇		一
							馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	金	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉			飛	香	九

持駒歩

自陣の飛と最奥の飛の連携だと最短11手です

が、最奥からの2段連続の二枚飛車での詰み上がりの作品はこれまでに無かったようです。おそらく最短は14手だと思いますが、後手に2手の手待ちが必要なので条件を限定し難いのがこれまでに作品がない理由でしょう。

2筋以外の筋の着手が1回だけで詰み上がりは2種類だけ。ひとつは参考図のように49の金を29の飛でピンして、8段目は28の飛で抑え、唯一の2筋以外の着手の▲36歩で玉への利きが通った△26角で詰める形です。この形だと18手で実現可能です。

参考図

後手の持駒：銀桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	王	王	將	科	皇		一
									二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
						歩	馬		六
歩	歩	歩	歩	歩	歩			歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金		飛	香	九

持駒歩

参考図：▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、△27歩、▲22飛不成、△同飛、▲28角、△同歩成、▲同銀、△同飛不成、▲24歩、△29飛不成、▲23歩不成、△28飛打、▲36歩、△26角まで18手

詰将棋パラダイスの購読者ならお気づきだと思いますが、2020年1月号の詰パラ推理将棋で出題された1手だけ別の筋の着手条件の作品での詰み形がこれになります。(きっと、短評でも指摘があることでしょう)

作者も最初はこの詰み形を検討したのですが、2020年の年賀推理にするには2手追加する必要があります、この18手の手順でさえ非限定が多くて条件付けが難しそうだったので、もうひとつの詰み形の作品にしました。

参考図で、49の金が無ければ角の王手ではなく、8段目と9段目の二枚飛車での詰みになり

ます。詰みに関係ない後手の角は 22 へ打つと、なにやらプルーフゲームの様相になるし着手の限定がし易くなります。2筋以外の着手は▲36歩の代わりに金を2筋へ持って行くための▲38金です。金を遠くへ動かさないといけないようなイメージがあり、たった1手を使うだけで済むのが意外かもしれません。29の桂を取るタイミングは49の金がまだ居る時でなければいけないし、参考図だと△29飛不成した飛はそのまま29に居れば良いのですが、二枚飛車で詰みでは29地点を空けるために1手使って△28飛不成で一段戻る必要があります。参考図では最終手で角を26へ打ちましたが、作意順では26の代わりに22へ打つだけなので手数の増減はなく、△28飛不成の1手が増えるので、先後で2手増えた20手詰みになります。

互いに2筋の歩を突いて、5手目に▲25同飛で後手の歩を取ると、6手目に後手が指せる2筋の着手は持ち駒の歩を打つしかありません。次の先手着手は▲22飛不成が見えているので、23や24へ歩を打つのは後の着手ができなくなるので、歩を打つ場所は26~28の3箇所の中のどれかになります。7手目は先手が指せる▲22飛不成、8手目で△同飛とすれば、9手目に先手は取った角を打って後手へ角を渡すことができます。それに都合が良いのは28地点です。なので6手目の歩打ちは△27歩としておくと9手目▲28角に△同歩不成。駒成なしなので28の後手の歩はこれ以上進むことはできませんが、11手目の▲28同銀、△同飛不成がピッタリ。13手目は▲23歩不成の条件をクリアするために▲24歩と控えて打ちます。後手は、△29飛不成の後に△28飛不成と引きます。17手目で▲38金と上がり、次の19手目に▲27金へ上がって△29飛打の移動合いができなくします。18手目は△22角です。19手目に23で不成した歩で22の角を取れる状況になりましたが、先手は▲27金へ上がってしまったので△29飛打で詰みとなりました。

余詰手順ですが、6手目の歩を打つ手を△28歩とする手でした。この後、▲22飛不成、△同飛、▲28銀で歩を取って△同飛。この後に△29飛不成で桂を取って△28飛不成と戻るときに先手は28へ角を打っておいて後手に角を渡すことができます。この手順だと取る駒の数と種類は同じなのに、△27歩と打ってから△

28歩不成とすると2手必要だったものが直接△28歩とするので後手に1手の余裕ができるため、持ち駒になっている桂や銀を打つ手が非限定になってしまいました。

△29飛を△28飛不成で1手掛けて戻る必要があるし、先手は2筋以外の着手▲38金だけではなく▲27金へ動く必要があるので、参考図に2手足した20手が最短手数だと思い込んでしまったのが失敗の原因でした。

余詰指摘があるまで最短20手の詰み形だと思っていましたが、この最終図だと18手のプルーフゲームになっていそうです。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

Pontamon (作者)「詰パラ推理の422番を見たとき、被ったと一瞬焦りましたが、6手目と最終手が同じ地点ではないので一安心。条件を覚え間違っていたため、筋も2筋じゃなさそうだと思っていたのですが解いてみると2筋。しかも非限定多数で作図を諦めた図形だったので驚きました。」

NAOさん(双方解)「先後の2筋の歩打から歩不成の手待ちがびたりと決まりました。」

■2筋着手条件のために指せる手が少なく、先後の指し手のタイミングが悪いので手待ちが多数ある感じ。

ミニベロさん「非限定有りそうで無いんだ。旨く限定できてますね。」

■余詰でキズが付きましたが、プルーフゲーム風の駒配置にして手順が限定されました。

ほっとさん「意外にもこれが一番簡単だった。」

■初級の千日手回避の手順解明が面倒になるとこの中級が一番簡単でしょう。

のくせにさん「49金の処理に悩みましたがびつたりの避難場所ができてました。」

■58 金右では 28 の飛の利きを遮るため 68 に退路ができてしまいます。

リーグ戦ファンさん「必要な手数が先手 10 手後手 10 手であることはわりとすぐ計算でき、あとはパーツを交互にどう嵌めてゆくか。こういう、ちまちま手順を考える問題、ブルーフゲームっぽくて実に好みです。」

■先手も後手も 2 筋着手となると指せる手が限られるので、指し手が無くならないように組み立てる。

RINTARO さん「素直な作品。詰み形はすぐ見えるので、49 金の処理に気付けば解ける。」

■二枚飛車の形が浮かべば、おっしゃる通り 49 金の処理が考え処。

飯山修さん（双方解）「パラ 1 月号の 20 手作を解いた後なので 26 角を打とうとして泥沼」

■22 の角が条件にあるので、もう一枚角がないと 26 角は打てません。

斧間徳子さん「条件が技巧的な佳作。詰パラ 1 月号の類作を解いた記憶があったので考えやすかった。」

■詰パラでは年賀推理とは言わないけど、作者も選題も年賀を意識しているでしょう。2020 年、令和 2 年だとネタが被ってしまうのは仕方ありません。詰み上がりが被らなくてよかったです。

山下誠さん「2 二角を打つという発想が全く浮かばず、最終ヒント待ちとなりました。」

■22 の角が不動のままで▲23 歩不成を実現すると、▲26 歩、△24 歩、▲25 歩、△同歩、▲同飛、△24 歩、▲26 歩、△25 歩、▲同歩、△28 飛、▲24 歩、△29 飛不成、▲23 歩不成、△27 飛不成、▲28 銀、△同飛不成、▲39 金、△27 飛不成、▲29 金、△同飛不成などの手順で王手できて 8 段目へ逃げられてしまいます。

たくぼんさん「詰パラ松澤作を解いた後だった

ので最終 26 角がチラつき頭を捻ってしまいました。ヒントがなければ解けなかったでしょう。無駄のない手順で感心しました」

■前半で 22 の不動の角と▲23 歩不成

波多野賢太郎さん「これはノーヒントで解けました。と言っても、「不可解な 22 の後手角と…謎を解こう」というのがヒントになりました。ほぼ 2 筋に限られているとは言え、これだけの条件で手順が限定されているのは凄いなと思いました。」

■2020 年、令和 2 年なので「20 手詰めで 2 筋だけの着手」で詰め手順があるのかを探索した結果です。最初は 2 筋以外の着手が 2 手ある手順を考えていました。

S.Kimura さん（双方解）「金も取らなくては詰まないと勘違いしたため、20 手に収まらなくて悩んでいました。正解手順を踏まえて、飛車で角を取る手を考えたら、余詰が見つかりました。」

■条件がきつい分、詰め手順を見つければ余詰は殆ど無いはずと高をくくって余詰作になってしまいました。

津久井康雄さん「2 筋のみの着手で詰まそうという発想がすごいと思いました。」

■2020 年、令和 2 年の年賀推理なのでダメもとで探索したら、1 手だけ 2 筋以外の着手で行ける手順を見つけました。

諏訪冬葉さん「2829 の二枚飛車は思いついたのですが、ヒントを見るまで最終手△26 角（2 筋以外の手は▲36 歩・▲49 金はピン）を中心に考えていました。」

■29 の飛は王手ではなく▲49 金をピンするのが目的と考えている時点で最終手は△26 角しかありませんね。

緑衾さん「2 六角しか詰み筋がないと思い込んでいてヒントを見るまで解けませんでした。金がどこせるんですね。」

■詰パラ 1 月号を先に解いていた口でしょう

か。

はなさかしろうさん「詰形から考えましたが、先手が 49 金を残して 36 歩を突き、後手の 29 飛、28 飛、26 角による詰みに誘われてしまいました。角は使わないけどどこかさないと通れなかったんですね。」

■使わない角を取り戻してまで元の位置へ戻す。一体何のため？（笑）手順限定のためでした。

原岡望さん「ヒントに助けられました。」

■ヒント投入まで殆ど解答が無かったので大甘ヒントを投入しました。

正解：17名

NAOさん ミニベロさん ほっとさん のくせにさん リーグ戦ファンさん RINTAROさん 飯山修さん 斧間徳子さん 山下誠さん たくぼんさん 波多野賢太郎さん S.Kimuraさん 津久井康雄さん 諏訪冬葉さん 緑衾さん はなさかしろうさん 原岡望さん

1 2 4 - 3 上級 Pontamon 作
2020 年の指し初め 1 1 手

「明けましておめでとう」

「おめでとう。早速、指し初めするか」

「じゃ、お願いします。2020 年はどんな年になるかね」

「東京オリンピックでは日本選手に金銀銅のメダルを沢山取って欲しいね」

「おっと、駒成はなかったけど、この 11 手目で詰みだ」

「君は 1 月 1 日らしく 11 手とか 1 筋への大駒の連続着手があつて、僕は金銀同の順で 3 連続着手したね」

(条件)

- ・駒成なく 11 手で詰み
- ・後手は金、銀、同の順の着手を連続で指した
- ・先手は 1 筋への大駒の連続着手

出題のことば (担当 Pontamon)

金銀同の 3 手連続着手と 1 筋連続着手の絡み合った条件を紐解きましょう。

締め切り前ヒント

金銀同は 4 手目から開始。持ち駒を 10 手目に打って、16 地点からの角の王手に合い無しにします。

推理将棋 1 2 4 - 3 解答 担当 Pontamon

▲76 歩、△52 玉、▲33 角不成、△51 金右、▲22 角不成、△62 銀、▲44 角不成、△同歩、▲18 飛、△42 角、▲16 角 まで 11 手

(条件)

- ・駒成なく 11 手で詰み
- ・後手は金、銀、同の順の着手を連続で指した (△51 金右、△62 銀、△同歩)
- ・先手は 1 筋への大駒の連続着手 (▲18 飛、▲16 角)

詰上り図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科			王	王	爵	科	皇	
二		飛		爵	王	皇				
三	歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	
四						歩				
五										
六				歩					角	
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八									飛	
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 歩

後手の金銀同の着手は何手目からなのでしょう？ 2 手目から金銀同の着手では、初手から▲76 歩、△42 金、▲33 角不成、△62/72 銀、▲22 角不成、△同銀 しかありません。先手は 1 筋への連続大駒着手をしなければいけないのに、後手の"同"の着手のために角を渡してしまっていて、持ち駒に角 1 枚があるだけです。1 筋で角成ができるなら馬の着手を 1 筋へ続けることができますが、駒成なしの条件なので、後手大駒を 1 筋でもらうしかありません。7 手目から、▲25 角、△14 角、▲同角、△52 金寄、▲15 角でどうにか王手まではできますがまるで詰んでいません。居玉を 15 の角での王手では移動合いがいろいろ残っています。もし、後手に持ち駒があると駒打ちでの合いも可能です。(参考図

参照)
参考図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科		王	王			科	皇	
二		遊		遊	遊			遊		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四									角	
五									角	
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 歩

2手目に△34歩の協力手を指した場合だと、先手は3手目の▲22角不成の後に▲31角不成などで5手目に駒入手が可能で、4手目金、6手目銀のあとの7手目での捨て駒着手が間に合い、8手目に同の着手が可能です。最終手は1筋からの大駒なのが確定しているので後手は合い駒ができないように持ち駒を手放す必要がありますので10手目が駒打ちになります。先手は残り2手ともに1筋への大駒着手になります。後手には玉の手が無かったので居玉なので、最終手は▲15角での王手になりますが、▲24歩や▲33桂の移動合いが可能なので失敗です。

玉の位置はどこだと詰む形になるのでしょうか？正解は△52玉を▲16角で詰める形になります。この場合は△34歩の移動合い、43の歩が邪魔、玉の退路として両脇の42と62、玉が居た51があるのでこれらを埋める必要があります。2手目に△52玉とすれば▲33角不成で33の歩を取れるので△34歩の移動合いはなくなります。51地点は4手目の△51金右、62は△62銀で埋めることができそうですが、次の同はどうしましょうか。▲44角不成を△同歩で取ると同の手と邪魔な43の歩の問題が一手で解決します。残る42地点は頭の丸い角を打って詰まされる形が完成です。先手は連続で1筋への大駒着手が必要なのに盤上の角を44へ捨ててしまいました。でも初期配置の28の飛があるので9手目▲18飛ができて解くことができました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

Pontamon (作者)「条件内の「先手は」や「後手は」は、手順限定には不要なサービス文言です。金銀同の着手位置は3つの筋並びで、先手からみたときの高さの違いも表彰台を再現しています。(銅の位置が低すぎるけど)」

NAOさん「金銀同がぴったり。自陣に大駒の連続手があった。」

■意味のある手を指そうとすると、手待ち着手が条件に紛れていると難度が上がります。

ミニベロさん「端の大駒は決め打ちでしたので、これはすぐに解けました。4四角不成が、習いある推理将棋特有の手筋。それにしてもタイムリーな条件。作家は見逃さない。すでにいただいたちゃいました。」

■4年前のリオ五輪の年だったら、最終手地点といい金銀同といい、もっと決まっていたことでしょう。

ほっとさん「2手目34歩ばかり考えていた。この作意は金メダル級。」

■先手の大駒連続着手条件があるので1手でも早く角を入手したいところ。

のくせにさん「意味のある1筋の大駒の手を探してばかりいたらただの手待ちでしたか。」

■98香の着手条件でも良かったのですが、条件が増えるので1筋の連続大駒着手にしました。

リーグ戦ファンさん「1・2が質問に回答をいただいた時点で瞬殺だったのに、3はのべ100時間以上考えてなお見つからず。ヒントに頼ったのは過去一回だけだったと思います。(いまでも覚えてる46・3。)

さっき薄目でヒントを覗いて、「16地点」だけ見て…解があると知ればすぐに解を発見。「16角まで単騎詰」は、相当に検討したはずが…検討メモを見返すと、▽51金右が完全に盲点になってました。」

■△62金にしていたら51の退路が残ってしまいますね。

RINTARO さん「ヒントで 16 角迄を見てしまったので、あっさり解けたが、ヒントなしで考えたときは、13 に角を不成で行ったり、15 に角を打ったりしてたから、全く解ける気配がなかった。18 飛や 16 角もチラッと考へはしたが、深くは追わなかった。条件・手順は完璧で素晴らしいです。」

■ヒントは自信を持って考えることができるってことですね。16 角をチラッと考へた時に深堀していれば解けていたことでしょう。

飯山修さん「い～、18 飛！ 13 角と 44 角の両方が指せなくて困ってるのにコレかい」

■13 角と 14 角の 2 枚角のことでしょうか。同の手を実現するために角一枚は差し出す必要があるんで困ったことでしょう。

斧間徳子さん「18 飛とは参った！ ヒントなしでは解けなかった超難問。」

■この角単騎の手順が未発表だったのは先手に 1 手余るからでしょうか。連続大駒着手指示なので単騎詰めは思い浮かばなかったかも。

山下誠さん「1 筋に 2 枚の大駒を組み合わせる順を考へて泥沼にはまりました。1 六角を試してみたら意外にも攻め駒は角 1 枚で OK でした。」

■2 枚の大駒を組み合わせることより、▲16 角での角単騎の詰み形が見えると▲18 飛の手待ちが判明します。

たくぼんさん「18 飛は浮かばなかったねえ。それと手の手が悩ましかった。これは好作ですね。」

■同の手のために角を差し出すと角一枚で詰める手順は見えにくい。5 手目に香を取って香を渡せば取った角が使えるけど大駒連続着手にならないので 7 手目に角を打って 9 手目に香を渡す？

波多野賢太郎さん「こちらはヒントなしでは手も足も出ない感じでした。ヒントがすごく親切だったので助かりました。4 四角でこびんを開けさせるのがうまい手ですね。オリンピックに

ちなんで、金、銀、同、というのもよく考へたなあと思いました。」

■金、銀、同はほぼオヤジギャグレベル。

S.Kimura さん「金を打って詰ますことを考へていました。ヒントを見てから、角単騎詰の復習をして、ようやく答えが分かりました。」

■角単騎の最短は 11 手の 2 種類だと思いますがどちらも作品としては出ていないようです。御自身の研究の復習でしょうか。

津久井康雄さん「1 筋大駒連続着手は 15 角と 16 角の形かと思ひ込み、追加ヒントを得ながらも苦戦しました。」

■16 角は筋違いなので持ち駒の着手。盤上移動で 15 角は手数が足りないですね。

諏訪冬葉さん「ヒントから 2 手目は△52 玉、さて 43 の歩はどうやって消すかと思ったら同歩を誘発する手があったとは。」

■玉のコビン開けと 42 角と打ってもらう角の提供の一石二鳥の▲44 角不成でした。

D J カートンさん「追加ヒント無しでは詰み形すら想像できなかった。追加ヒントを見たら 10 分で解けた。」

■ヒントを投入しても、▲44 角と後手の詰まされる駒配置は内緒でした。

緑衾さん「金銀同の条件からつくったのでしょいうがうまくまとまるものなんですね。1 筋の大駒の手が連続ではなく 2 回だと何か余詰があるのでしょいうか。」

■1 筋の大駒着手 2 回でも余詰みは無いと思いますが、余詰みに対抗する安全策の条件。

はなさかしろうさん「金銀同、好い感じ。後手玉を 1 筋方向に運ぶ順は一手不足、52 玉のほう短手数だったんですね。」

■1 筋側の何処へ持って行く手順だろう。何にせよ余詰でなくて良かったです。

原岡望さん「トーチカを作るのがコツ」

■出口がひとつなのでそこから攻撃されると動きようがなく守れない。

正解：18名

NAOさん ミニベロさん ほっとさん のくせにさん リーグ戦ファンさん

RINTAROさん 飯山修さん 斧間徳子さん
山下誠さん たくぼんさん 波多野賢太郎さん
S.Kimuraさん 津久井康雄さん 諏訪冬葉さん
DJカートンさん 緑衾さん はなさかしろうさん 原岡望さん

総評

NAOさん「難易度と手数が逆順。長手数でも取り組みやすかった。」

■取り組みやすい長手数に慣れたところで125-1の初級も16手作を用意していましたが差し替えました。16手3部作で使おうかな。

ミニベロさん「消費時間からすると、難度は逆の感じ。でもこれはよくあること。自作の難易度もよくわからないし。」

■手数じゃなくて作品の考え処で判断してみたのですが、手数が多い分、解図時間は掛かってしまうのかも。

リーグ戦ファンさん「推理将棋、風呂でも通勤途中でも考えることができるので楽しいのですが、会議中でも考えることができることが私にとって大問題。推理将棋を断っていたのはそれが理由だったのですが…124-3は、ひさびさに「いかに仕事に悪影響を与えるか」を実感させられました。」

■人命を預かる仕事でなければ、仕事中に考えるのもいいけど程々に。(笑)

RINTAROさん「1のような作品は初めて解いたので、ミスディレクション抜きでもパズルティックで楽しめました。千日手なんて完全に思考外でした。推理将棋も奥が深い……。2も分かりやすくて、好作でした。49金の処理に気付いたときは、なるほどと唸りました。」

3は、条件が秀逸すぎます。オリンピックイヤーで楽しみな2020年、3問とも解答を提出できて良かったです。

本年もよろしく願いいたします。」

■全問解答、全問正解を目指して本年も推理将棋をよろしく願います。

飯山修さん「もうすぐ70歳なので毎週健康体操に通っていますが、そこでは脳トレが長生きに必須といつも言われています。推理将棋はその一環ととらえて出来るだけ続けていきたいと思っています。」

■脳トレに3問とも16手詰特集なんていかがでしょうか？もちろん易問から難問までの3問です。

斧間徳子さん「今月は近年では最も骨のある選題で苦労しました。」

■全投稿作掲載予定の年賀推理の特集だったので特別な選題はしていませんでした。いつもより長い手数とか初お目見えの千日手や角単騎などバラエティに富んでいました。

たくぼんさん「今回はなかなか難しくてヒント頼りでしたが、解ければ納得の好作揃いでした」

■中級の余詰が残念。125回は余詰なしで行けるかな？

波多野賢太郎さん「久しぶりに参加します。なかなか難しく解けません、やっぱり推理将棋は楽しいですね。」

■2020年の皆勤賞を目指して、推理将棋をごひいきください。

津久井康雄さん「今回も全部追加ヒントを得て何とかという感じです。(初級中級は自信無し)私にはちょうどいいレベルのヒントで、解ける喜びを味わえてありがたいです。」

■今回はヒント前の解答が2名だったので大甘ヒントでした。

DJカートンさん「124-2は解けませんでした。が、せつかく2問解けたので解答します。」

■ 1問でも解けたら解答をお願いします。無解でも感想をどうぞ。

緑衾さん「1は20手連続移動にするつもりだったのですがうまくまとまりませんでした。中級の方が上級より難しかったです。」

■ 後手の右銀の20手連続移動となると50手近く？

原岡望さん「このところ難問多く悲鳴を上げています。やさしいのをお願いします。」

■ 選題に自由度は少ないので、ヒントで調整します。

神在月生さん「故あってしばらくは解図時間が減るんですが、何とか最低一問だけは解答を続ける所存です。」

■ 1問でも結構ですので解答をお願いします。

推理将棋第124回出題全解答者： 19名
NAOさん ミニベロさん ほっとさん のく
せにさん リーグ戦ファンさん RINTARO さん
飯山修さん 斧間徳子さん 山下誠さん
たくぼんさん 波多野賢太郎さん
S.Kimura さん 津久井康雄さん 諏訪冬葉さん
DJカートンさん 緑衾さん はなさかし
ろうさん 原岡望さん 神在月生さん



やさしい双裸玉 Imitator【解答編】

占魚亭

☆連日の新型コロナ報道に辟易しているなか、二週連続で好きな作家の訃報に接しダメージを受けています(2人とも急逝なのが、なお辛い……)。☆今回は、たくぼんさんから解答をいただきました。ありがとうございます。

—ルール—

【協力自玉詰】 先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【Imitator(■または I)】 着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

第1問

協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								王	四
							王		五
								■	六
									七
									八
									九

持駒 歩

※■ : Imitator

【手順】

15 王[I18]、36 玉[I28]、37 歩、35 玉[I27]、36 歩[I26]、25 金まで6手。

詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						王	王	王	五
						歩	■		六
									七
									八
									九

持駒 なし

☆持駒歩1枚なので初手は王での王手と予想しやすかったと思います。歩打ちの可能性もなくはないですが、トップに持ってきた作品でひっかけるようなことはしません(笑)。

【短評】

たくぼんさん

この位が楽しめると思います。といつつ初手 27 歩と打っているいろいろ考えさせられましたが。

第2問

協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
									三
									四
							王		五
									六
								■	七
									八
									九

持駒 香

※■ : Imitator

【手順】

28 香、27 香、同香[I17]、35 玉[I26]、39 香、22 金まで6手。

詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							香		二
								王	三
									四
						王			五
							■		六
							香		七
									八
							香		九

持駒 なし

☆初手の香の打ち場所がポイント。29 に打つと 22 金に同玉や 14 玉があるので、28 に打つのが正解。合駒読みが一寸たいへんかもしれませんが、難問というほどではないと思います。

【短評】

たくぼんさん

詰上がりの■の位置の為に初手限定となるんですね。合駒読むのでかなり大変。

第3問

協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								王	四
									五
							王	■	六
									七
									八
									九

持駒 桂

※■ : Imitator

【手順】

18 桂、24 金、13 王[I15]、25 玉[I14]、14 王[I15]、

35 玉[I25]まで6手。

詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							香	王	四
						王	■		五
									六
									七
								桂	八
									九

持駒 なし

☆王のスイッチバックが入った作品。2手目さえ分かれば後は一本道なので、第1問と同じくらいの易しさと思います。

【短評】

たくぼんさん

王での王手もだいぶ慣れてきたが、詰型の把握がまだまだなので試行錯誤の連続。

【総評など】

たくぼんさん

いつになったら慣れることか……。

☆いつも解答をありがとうございます。月並みですが、作るのが一番の近道だと思います……多分。

☆次回開催は6月を予定しています。

<余談>

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で今月はテレワーク中です。いつまで続くことやら。

<ルール説明>

【点鏡】

55 に関して点对称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

[補足]

行き所のない駒の禁則は適用されない。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【自玉詰】

攻方は自玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

<問題>

【4-1】

点鏡協力自玉スタイルメイト 8手
 9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
									四
									五
				王					六
									七
									八
									九

持駒 角

88 角 22 玉 77 角 33 玉 66 角 44 玉
 45 王 65 桂 まで 8 手

占魚亭

角と玉が一步步近づいていくのが面白かったです。

【4-2】

点鏡協力自玉スタイルメイト 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 角

77 角 33 飛 37 角 73 銀 48 角 62 飛
 68 角 42 金 まで 8 手

占魚亭

点鏡らしさが十二分に出ていて楽しい作品でした。

【4-3】

点鏡協力自玉スタイルメイト 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 なし

76 銀 34 飛 78 銀 32 飛 98 銀 12 香
 96 銀 78 玉 87 銀 23 香 まで 10 手

占魚亭

こちらにも点鏡らしさが出ていますね。銀を1周させられないかと考えてみましたが、実現させるのはちょっと大変ですか。

※そういう作もここではないかもしれませんがいずれ。

強欲な世界 PART11 解答発表

たくぼん

強欲な世界 PART 11 は 2 名の方から解答、感想を頂きました。ありがとうございます。これである程度の在庫整理が出来ました。お付き合い頂きありがとうございます。

解答者：橋本孝治、占魚亭

【強欲】駒を取る手を優先して着手を選ぶ

①

強欲協力詰 71手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬			龍				全	玉	一	
		ス	ス				全	ス	二	
		ス	歩				全	ス	三	
		桂					杏	ス	四	
玉	歩	歩					圭	ス	五	
	ス	圭	ス			杏	ス	ス	六	
			手	龍		ス	ス	香	七	
				歩	金	金	玉	馬	八	
					玉	香	歩		九	

持駒 なし

- 86 圭 同玉 66 龍 85 玉 75 龍 同玉
- 76 歩 74 玉 73 馬 同玉 72 龍 同玉
- 62 歩成 同玉 63 歩 同玉 64 歩 同玉
- 65 歩 同玉 66 歩 同玉 57 金 76 玉
- 67 金 同玉 59 桂 58 玉 48 金 59 玉
- 49 金 同玉 27 馬 39 玉 28 馬 同と
- 38 金 同玉 27 銀 同玉 26 杏 17 玉
- 16 杏 同玉 15 圭 同玉 14 杏 同玉
- 13 全 同玉 12 全 同玉 11 全 同玉
- 12 歩 同玉 13 歩 同玉 14 歩 同玉
- 15 歩 同玉 16 歩 同玉 17 歩 同玉
- 18 歩 同玉 19 歩 同と 28 金 まで 71 手

★右半分を見て頂ければ予想が付きそうですがこれも密集形を狙って創作した作品です。3筋位まではある程度いけるのですがそこから逆算しようとするとかかなり難しい。初めから全体を考えて創作しないと無理かも。

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
								金	玉	八
								歩	ス	九

持駒 なし

橋本孝治

34 手目からの数手は、いくつも紛れがあって迷いました。1筋での縦往復から角砂糖形の詰上りは見慣れた筋ですが、38 金から 27 銀で狭い所を通過して、その筋に入るのは工夫ですね。

占魚亭

28 とを残すのがポイントだったのか。

②

強欲協力詰 81手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
玉		龍	歩		銀	玉	と	ス	一	
歩			香		歩			歩	二	
圭		桂	香		香			ス	三	
玉								と	四	
圭					玉			ス	五	
香	ス							と	六	
歩		と		歩	馬			ス	七	
桂	角	歩						と	八	
龍	玉	ス	と			玉	と	玉	九	

持駒 なし

- 55 馬 同玉 86 と 88 全引 56 歩 同玉
- 57 歩 同玉 68 と 同玉 79 龍 同全
- 69 歩 78 玉 61 桂成 69 玉 79 龍 同玉
- 88 銀 同玉 87 と 98 玉 97 と 同玉
- 86 銀 同玉 85 圭 96 玉 95 圭 同玉
- 94 圭 同玉 93 金 同玉 82 銀 92 玉
- 91 銀成 同玉 81 金 同玉 71 圭 同玉
- 61 香成 72 玉 62 香成 73 玉 63 杏 同玉
- 52 銀生 同玉 51 杏 同玉 41 歩成 同金

同香成 同玉 31 と 同玉 21 金 同玉
 11 歩成 同玉 12 歩 同玉 13 と 同玉
 14 歩 同玉 15 と 同玉 16 歩 同玉
 17 と 同玉 18 歩 同金 同と 同玉
 28 金 19 玉 29 金 まで 81 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
									六	
									七	
									八	
							玉	金	王	九

持駒 なし

★これも形を見れば予想が付くかもしれませんが、初形「60」を創ろうとして挫折した作品。

橋本孝治

配置から 19 玉の詰上りは予想できますが、初手 36 馬だと 12 歩が邪魔。二歩禁解消のための雄大な遠回りが印象的な作品。

★ 二歩禁解消は何となく入りました。

占魚亭

9 筋に玉を運ぶまで少々手間取りましたが、運んでしまえば後はラクラクでした。

③

強欲協力詰 79手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
角									一
	玉			香	銀				二
				桂	歩			ス	三
	香	桂		桂	ス	飛	歩	歩	四
	香	香		手	龍		ス	王	五
				と	香				六
歩	香	と	と	角					七
香	歩	香	歩	と	と		歩	ス	八
	歩		香	歩			銀	香	九

持駒 なし

25 龍 同玉 24 飛 同玉 44 香 14 玉
 13 角成 同玉 14 歩 同玉 15 歩 同玉
 16 歩 同玉 17 歩 同玉 18 銀 28 玉
 29 歩 同金 同銀 同玉 39 金 同玉
 49 と 同玉 48 と 59 玉 58 と 同玉
 68 と 同玉 78 と 同玉 79 歩 同金
 69 金 89 玉 79 金 98 玉 88 金 同玉
 78 金 97 玉 87 金 同玉 76 銀 同玉
 77 歩 75 玉 76 歩 74 玉 75 歩 同銀
 65 と 85 玉 75 と 同玉 64 銀 同玉
 93 王 54 玉 55 角成 同玉 67 桂 44 玉
 33 銀生 43 玉 42 銀成 53 玉 52 全 同玉
 63 金 同玉 75 桂 72 玉 83 桂成 81 玉
 82 圭 まで 79 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王								一
	圭								二
玉									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

橋本孝治

玉で取れない位置から王手できる桂は、強欲詰では鍵となる駒。そんな桂と、自玉の連携を見据えた 61 手目自玉のそっぽ行きは本作随一の好手でした。

占魚亭

93 王以降の鮮やかな収束が見事です。

★はっきり言って 61 手目の 93 王の 1 手のみと置いていい作品。この手触りがいいと思って逆算していきましたがちょっと単調すぎた感じです。

④

強欲協力詰 81手

				銀			香	と	一
銀			馬						二
龍	金				香	歩	と		三
香		香			銀			馬	四
ス	歩			香	香		飛	歩	五
杏			香	歩	香	歩	香		六
杏			金		と	と	と		七
杏			圭	圭					八
杏	圭		ス	ス	王				九

持駒 なし

- 59 圭 同玉 69 圭 同玉 79 圭 同玉
- 89 杏 同玉 88 杏 同玉 87 杏 同玉
- 86 杏 同玉 95 馬 同玉 94 龍 同玉
- 84 金 95 玉 94 金 同玉 83 銀生 85 玉
- 74 銀生 同玉 75 歩 同玉 66 金 同玉
- 55 銀 同玉 45 飛 同銀 56 歩 同玉
- 47 と 同玉 36 馬 同銀 37 と 同玉
- 27 と 46 玉 36 と 同玉 25 銀 26 玉
- 27 歩 同玉 16 銀 同玉 28 桂 15 玉
- 16 歩 14 玉 15 歩 23 玉 24 歩 33 玉
- 34 歩 同金 42 銀生 24 玉 25 歩 同金
- 33 銀生 15 玉 16 歩 同金 24 銀生 同玉
- 16 桂 13 玉 12 金 同金 同と 同玉
- 24 桂 11 玉 12 金 まで 81手

詰上図

								王	一
								金	二
									三
						桂			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★終盤の金を吊り上げて質駒とする順はお気に入りの順です。橋本さんが仰るようにこの順を大きく展開する作品にもチャレンジしてみよう

かなと思います。

橋本孝治

金を質駒化するため、斜めに軽く一往復。この趣向は面白いので、この手順を大規模に展開するともっと面白い煙詰になりそうに思います。個人的には今回の作品展で一番のお気に入り。

占魚亭

質駒の金を釣り上げる辺りが面白かったです。

★ 解答者のお二人もやはり終盤を気に入っていただいたようですね。

⑤

強欲協力詰 79手

王	香			と	と	と			一
						香			二
								龍	三
									四
桂							ス	と	五
							歩	香	六
歩	ス	香	と	ス	ス	桂	香	香	七
香	香	歩	香	と	と	香	香	飛	八
銀	香	角	銀	と	銀	と	角	桂	九

持駒 なし

- 93 龍 92 金 同龍 同玉 91 金 同玉
- 83 桂生 81 玉 71 桂成 同玉 61 と 同玉
- 51 と 同玉 41 と 同玉 31 香成 同玉
- 25 桂 38 と 32 歩 同玉 33 桂成 同玉
- 24 と 同玉 25 歩 同玉 27 香 同金
- 26 歩 同玉 16 飛 同玉 28 桂 同金
- 38 角 同金 17 歩 同玉 28 と 同玉
- 38 と 19 玉 29 金 同玉 39 と 同玉
- 48 銀 同と 49 と 同玉 48 と 同玉
- 49 歩 同玉 58 銀 同玉 68 と 同金
- 59 歩 同玉 68 角 同玉 79 金 同玉
- 88 銀 78 玉 87 銀 同玉 78 銀 98 玉
- 89 銀 97 玉 98 歩 87 玉 88 銀 98 玉
- 99 金 まで 79手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
王	銀								八
金									九

持駒 なし

★またかと思われると思いますが、これも密集形を狙って創作した作品です。下3段は埋まりましたがあとがいきませんね。

橋本孝治

これも、もしかしたら密集形を目指した作品でしょうか。最初の6手の精算が独特でちょっと新鮮でした。

★この序が付いたのは収穫でした。

占魚亭

七～九段目の巨大ブロックがあつという間に捌けていくのは圧巻。

総評

橋本孝治

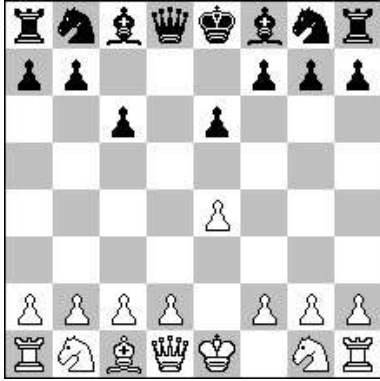
正真正銘「すらすら解ける」作品群。WFP作品展が百鬼夜行路線を突っ走っているので、こういう易しく楽しい作品の出題は貴重です。

★楽しんで頂いたようでよかったです。次回は溜まり次第開催予定です。

レトロプロブレム入門(3)

高坂 研

(5) Tibor Orban (Die Schwalbe 04/1976, Recommendation)



Proof Game in 4.0 moves (15+15)

この図は 3.0 手なら簡単です。(例えば、1.e4 c6 2.Bb5 e6 3.Bxc6 dxc6) しかし、これにあと 1.0 手加えるとなると、黒は指す手がありません。(白は P を single step にすれば 4 手にできますが)

5 手詰の詰将棋に 3 手詰が成立していると余詰ですが、プルーフゲームの場合、指定した手数で出題図を構成することが求められているので、早く到達したからといってそれだけでは余詰(cook)ではありません。このように、与えられた局面に予定された手数より早く到達してしまう場合、白(又は黒)はどこかで無駄に手を消費して時間調整をする必要があります。これを「tempo を失う」と言います。これは Proof game における主要なテーマの一つですので、是非御記憶下さい。

この作品の場合、「黒が P に 3 手費やし、同時に tempo を失うのは不可能である」という事実気付かないと、思考が堂々巡りしてしまいます。(レトロを解く上では、こういう論理的な思考が単に手を読む能力より遥かに重要です!) つまり、c6,e6 の黒 P はいずれも直進したものであり、d7 にいた黒 P ではありません。従って、白 B が取ったのは黒 Pd7 だったことが判明しました。

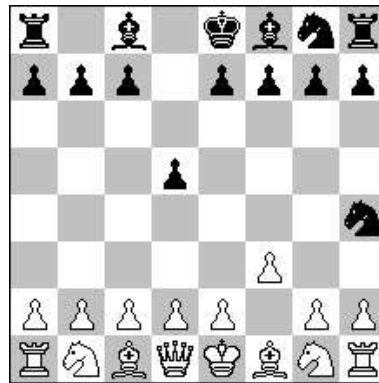
では、黒 Pd7 が 2 度動いたのでしょいか? いいえ、それも不可能です。何故なら、それだと白 B を取った黒駒が存在しないからです。ということは、黒 Pd7 は不動のま

ま取られたことになります。

以上より、黒の手は「P の着手 2 手+別な駒が 2 手」なのです。白 B が黒 Pd7 を取るには最短でも 3 手かかりますし、そうする為には黒は 2 手目に Pc6 としてはいけません。ということは…

もうお分かりですね。作意は 1.e4 e6 2.Bb5 Ke7! 3.Bxd7 c6 4.Be8 Kxe8 となります。短手数ながら意外なトリックでしたね。

(6) Michel Caillaud (The Problemist 1995-1996)



Proof Game in 6.5 moves (16+15)

b) 7.5 moves

a) では黒の着手は P が 1 手、S が 4 手の計 5 手。よって、黒の猶予はあと 1 手だけ。すると白は、Sg1 が d7 まで出かけて黒 Q を取り、g1 に戻る(switch-back)という順がすぐに目につきます。即ち、a) 1.Sf3 d5 2.Se5 Qd7 3.Sxd7 Sc6 4.Se5 Sd4 5.Sf3 Sf5 6.Sg1 Sh4 7.f3 が作意です。こちらは素直ですね。では、b) はどうでしょうか?

b) では、a) と同様の順は成立しません。実際、この図では白 S だけ、あるいは白 S と白 K の両方をいくら動かしてみても、7 手消費することはできません。(各自御確認下さい) つまり、tempo を失うことができないのです。

ここから、次の二つの事実が見て取れます。

(A) 白 S が動いた後で初形位置に戻ると、必ず偶数手かかる

(B) 白 K が黒駒のみを踏んで動いた後で初形位置に戻ると、必ず偶数手かかる

特に(A)の方は、より拡張した (A-1) S の移動回数の偶奇性(parity)は、枳

目の色のみで判定できるという形でよく知られています。これはレトロ解析において非常に重要な原理ですので、是非御記憶下さい。

さて、(B)より、白 K が tempo を失うためには一度白枰を踏む必要がありますが、どの白枰を踏んでも最低 7 手かかってしまいます。従って、b) では白 S は不動で、白 K が黒 Q を取りつつ tempo move している訳です。後は簡単な試行錯誤によって、解を見つけることができる筈ですが…。

b) の作意は、1.f3 d5 2.Kf2 Qd6 3.Ke3 Qf4 4.Kxf4 Sd7 5.Kg4 Se5 6.Kg3 Sg6 7.Kf2 Sh4 8.Ke1 となります。軽作ながらも、黒 S の軌跡の限定の仕方などには Caillaud のセンスの良さと抜群の創作力が窺えますね。

(7) Peter Wong
(The Problemist Supplement 9/1997)



Proof Game in 8.0 moves (13+14)
2sols.

手数計算をしてみると、黒はちょうど 8 手。従って、白は Q で Pc7 を取ってあげないといけません。(S や B で取りに行くと、時間がかかり過ぎます) この白 Q はそのあと b6 で黒 Q に取られたのでしょうか。そうすると白の手は、Q が 3 手で P が 2 手の計 5 手。残り 3 手はどうやって消費すればよいのでしょうか？

一見白 K が d1-d2-e1 とでも動けば(これを **triangulation** と呼びます)良さそうですが、実際には Pc3 で黒 B を取ったのは最短でも 4 手目ですから、これは不可能です。同様の理由から、白 Bc1 による tempo move も出来ません。

種明かしをすると、奇数手を消費したのは実は取られた白 S/P なのです。如何にも

初形位置で不動のまま取られたように見える駒が、実は 3 手かけて別な位置で取られていたのです！

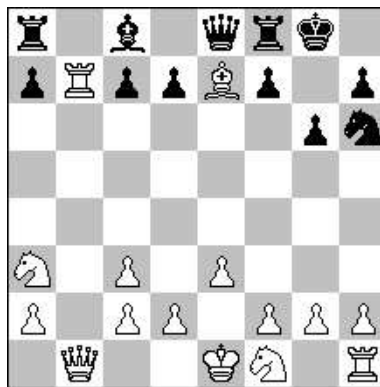
ということで、作意順は以下の通り。

(1) 1.a4 e5 2.a5 Bb4 3.a6 Bc3 4.dxc3 Sxa6 5.Qd6 Sb4 6.Qxc7 Sa2 7.Qb6 Qxb6 8.f3 Qxg1

(2) 1.Sf3 e5 2.Sd4 Bb4 3.Sc6 Bc3 4.dxc3 Sxc6 5.Qd6 Sb4 6.Qxc7 Sxa2 7.Qb6 Qxb6 8.f3 Qg1

奇数手かけて元に戻る以外にも、tempo の失い方は色々あるものですね。もう一作、同じ作者による似たテーマの作品を紹介しておきましょう。

(7-a) Peter Wong
(U.S. Problem Bulletin 1-4/1995)



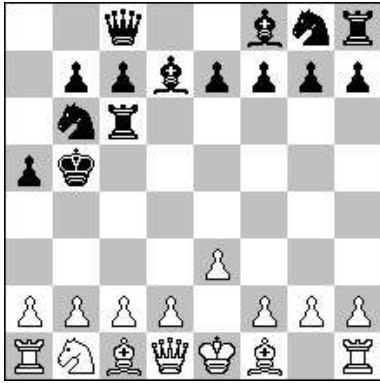
Proof Game in 11.5 moves (15+12)

こちらの作意は、1.e3 g6 2.Ba6 Bg7 3.Se2 Bc3 4. bxc3 Sh6 5.Ba3 0-0 6.Bxe7 Sxa6 7.Sa3 Sc5 8.Rb1 Se4 9.Rxb7 Sg3 10.Qb1 Sf1 11.Sg3 Qe8 12.Sxf1 です。

この作品では、黒 Sb8 が奇数手消費する為に f1 まで移動します。「取られる駒を利用して tempo を失う」という発想が(3)と共通していますね。



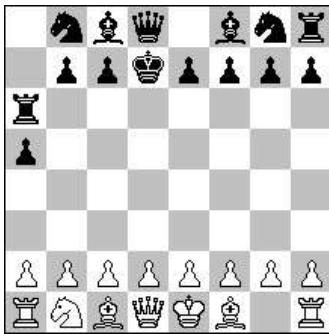
(8) Roberto Osorio (Retro Championnat de France RIFACE 2014)



Proof Game in 10.5 moves (15+15)

黒には1手の猶予もないので、Pd7は白が取ってあげなければなりません。従って、序の 1.Sf3 a5 2.Se5 Ra6 3.Sxd7 Kxd7 迄は必然で、左の局面となります。

(3.0 手目の局面)



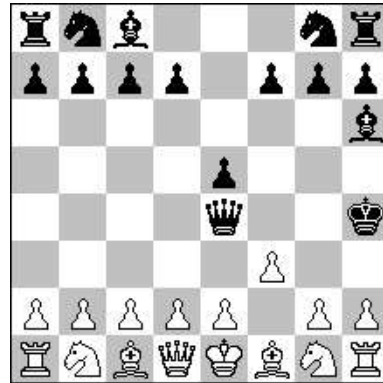
ここからが本題。白は後8手指さねばならず、そのうち1手はPe3ですから、7手消費する必要があります。しかも、黒Kをb5に連れていくには白Bf1の利きを遮断しておかなければなりません。遮蔽駒は白Kをd3に置くしかありませんが、このKのswitchbackに4手かかりますから残りは3手。となれば、自然と白Qのtriangulationが見えて来る筈です。ということで、作意は 1.Sf3 a5 2.Se5 Ra6 3.Sxd7 Kxd7 4.e3 Kc6 5.Ke2 Sd7 6.Kd3 Kb5 7.Qe2 Rc6 8.Qe1 Sb6+ 9.Ke2 Bd7 10.Qd1 Qc8 11.Ke1+ となります。

ぐずぐずしていると黒Qからチェックをかけられますから、白Kはd3に余り長居できません。このことから、どちら回りでも良さそうな白Qの回転の向きもちゃんと

限定されています。このKとの絡みで、白Qが例えばg4-f3-d1と動いてtempoを失うこともできないようになっています。最後はいずれも初形位置に戻って幕。明快に表現された、KとQによる複合tempoでした。

では、今回も同様の構想を持つ作品を紹介しておきましょう。

(8-a) Gianni Donati
(Thema Danicum 98 04/2000)

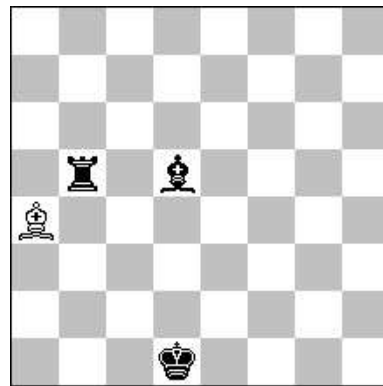


Proof Game in 10.0 moves (16+16)

作意は、1.f3 e5 2.Kf2 Qh4+ 3.Ke3 Ke7 4.Qe1 Kf6 5.Qg3 Be7 6.Qf2 Kg5 7.Qe1 Qe4+ 8.Kf2 Kh4 9.Qd1 Bg5 10.Ke1 です。意味付けの純粹さという点では、こちらの方が上かもしれませんね。

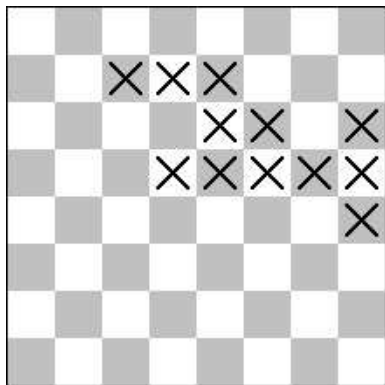
では、今月の出題です。

(9) Raymond Smullyan
(Manchester Guardian 1957)



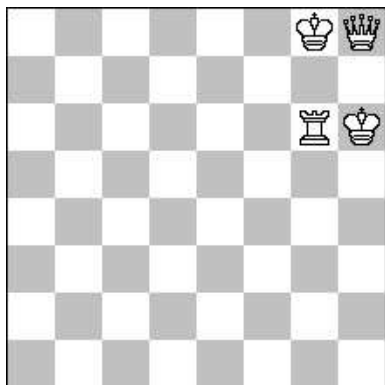
白Kはどこにいるか？(1+3)

(10) Henri Nouguier
(Rex Multiplex 18, 1986)



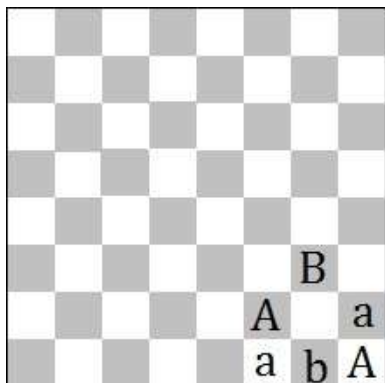
×の付いた場所に白 KB2P3、黒 KP5 を配置して、白が en passant で黒を1手詰にできる局面を構成せよ(6+6)

(11) Gideon Husserl
(feenschach 1986)



合法的な局面になるように駒を色分けせよ
b)Rg6→g7 (4+0)

(12) Andrej N. Frolkin
(Diagrammes 96, 01-03/1991)



合法的な局面になるように大文字には白駒を、小文字には黒駒を対応させよ。但し、同音の文字には同種の駒種が対応する。

b)g1⇔g3 (3+3)

Fairy TopIX2019投票要項

Fairy TopIXとはウェブサイトで発表されたフェアリー詰将棋・推理将棋・プルフゲームを対象にお気に入り投票を行い、上位作に授賞するものです。Fairy TopIX2019は2019年にウェブサイトで発表された作品の中からお気に入り投票によって選ばれます。

【投票宛先】

WFP事務局(たくぼん)宛にメールにてお願いします。takuji@dokidoki.ne.jp

【スケジュール】

投票開始：2020年4月5日
投票締切：2020年5月10日
結果発表：WFP令和2年5月号(143号)

【対象】

2019年にWeb Fairy Paradise誌に掲載された作品(過去作の紹介作は除く)。なお詳しくは後日発行予定の対象作品一覧で確認下さい。またWFP作品展につきましては神無七郎氏のサイト(OFM)でも全作品動く盤面で鑑賞いただけますのでそちらを参照下さい。

【部門区分】

【フェアリー詰将棋】

短編部門：～15手
中編部門：16～49手
長編部門：50手～
推理将棋・プルフゲーム 手数区分なし

以上4部門となります。

【投票の仕方】

お気に入り投票として実施しますので何作投票していただいても構いませんが、お気に入り上位3作には1位～3位までの明記下さい。投票の際には集計間違いを防ぐため下記の項目を記載いただくと助かります。

- ・ 部門名
- ・ WFP何月号(または何号)
- ・ 作品展名(またはコーナー名)
- ・ (あれば)作品番号
- ・ 作者名&ルール名&手数
- ・ 投票作品へのコメント(部門別及び全体通してのコメントも出来ればお願いします)

*なお対象作品一覧には通し番号を打ってますのでそちらの記載でも構いません。

【投票集計方法】

投票順位に応じて作品毎に下記ポイントを加算し、各部門での合計ポイント順に授賞します。

- 1位：5点、
- 2位：3点
- 3位：2点
- 上記以外：1点

各部門得票数上位3作までが授賞となります。作者に授賞コメントをお願いすることになりますのでご協力よろしくお願いします。

お気に入り投票ですので、全部の作品を見てなくても構いません。お気に入りの作品をお好きなだけ書いて投票いただければ結構です。1票でも得票がある作品はすべて5月号に掲載いたします。今年もたくさんの投票をよろしく願います。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2020年4月10日(金)

推理将棋第126回出題

推理将棋 3題

2020年4月15日(水)

第119回 WFP 作品展

フェアリー作品 9題

推理将棋 2題

2020年5月15日(金)

第120回 WFP 作品展

フェアリー作品 10題

東京オリンピック開催? 記念作品展

フェアリー作品 8題

推理将棋 3題



作品募集締切一覧

2020年4月17日(金) 投稿締切

第52回神無一族の氾濫

課題：ルールの回避 & ばか詰 1題

※「与えられたルール独自の効果が発動することを回避する」狙いを持った天邪鬼な作品をお寄せください。一人何作でも可

投稿先：神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com)

(詳細は P13、WFP 作品展出題稿をご覧ください)

2020年5月15日(金) 投稿締切

Fairy of the Forest #63

課題：協力詰 (自由課題)

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

詳細は、P33 をご覧ください

【WFP 作品展登場ルール一覧更新】

WFP のページより閲覧できる「WFP 作品展登場ルール一覧」を更新致しました。第119回までの分を反映させました。

【あとがき】

新型コロナウイルスの影響として詰将棋解答選手チャンピオン戦が中止になりました。楽しみにしていた方も多いかと思いますが残念ですね。時期をずらしてやっていただければと思いますがどうなのでしょうね。

先日、高坂さんが WEB 上で開催された透明駒解答選手権に私も参加 (時間オーバーでオープン参加) しましたが、時間制限があると頭を休ませる時間がなく大変という事がよく分かりました。私には1ヶ月掛けてゆっくり解くというのが似合っているみたいです。 たくぼん

2020年 第141号

Web Fairy Paradise

非売品

令和二年三月号

令和二年三月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp